

イ 工事に伴う舗装改修

● 外構：外構舗装（建設局エリア）

搬入経路となる西側外構舗装は石舗装となっており、大型車の通行に配慮されてはいるが、経年に伴い汚れ、欠けが散見される。またそれ以外の舗装はタイル舗装となっているが、全域で割れ、破損後のアスファルト舗装によるパッチワーク状の補修跡がある。補修状況は東側の公園事務所管理車両通行部に著しくみられる。また、今回の本体改修工事では外構を大型重機が走行することも予想されることから、石、タイル共に更なる破損が発生すると考えられ、工事で損傷する範囲について、復旧する必要がある。改修方法としては、舗装材の更新となるが、搬入経路となる西側、公園事務所の管理車両の通行がある東側は耐荷重性のある半たわみ性舗装での改修を行うこととする。一方で、既存タイル舗装部は経年による劣化が生じにくい石舗装での改修とする。

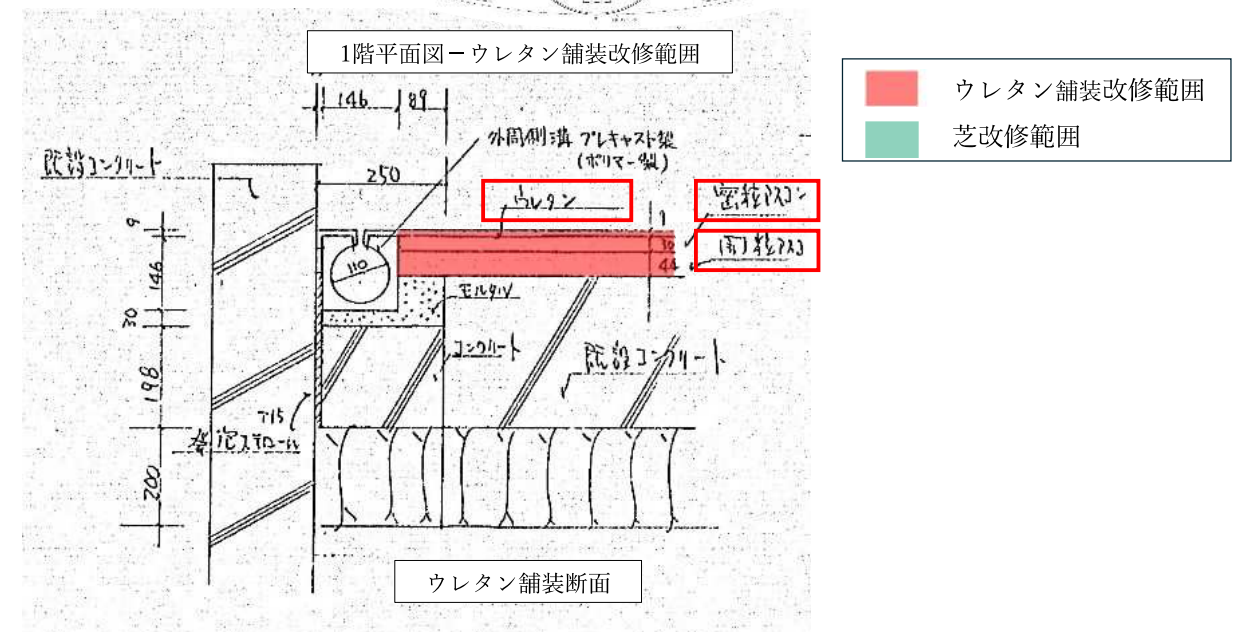
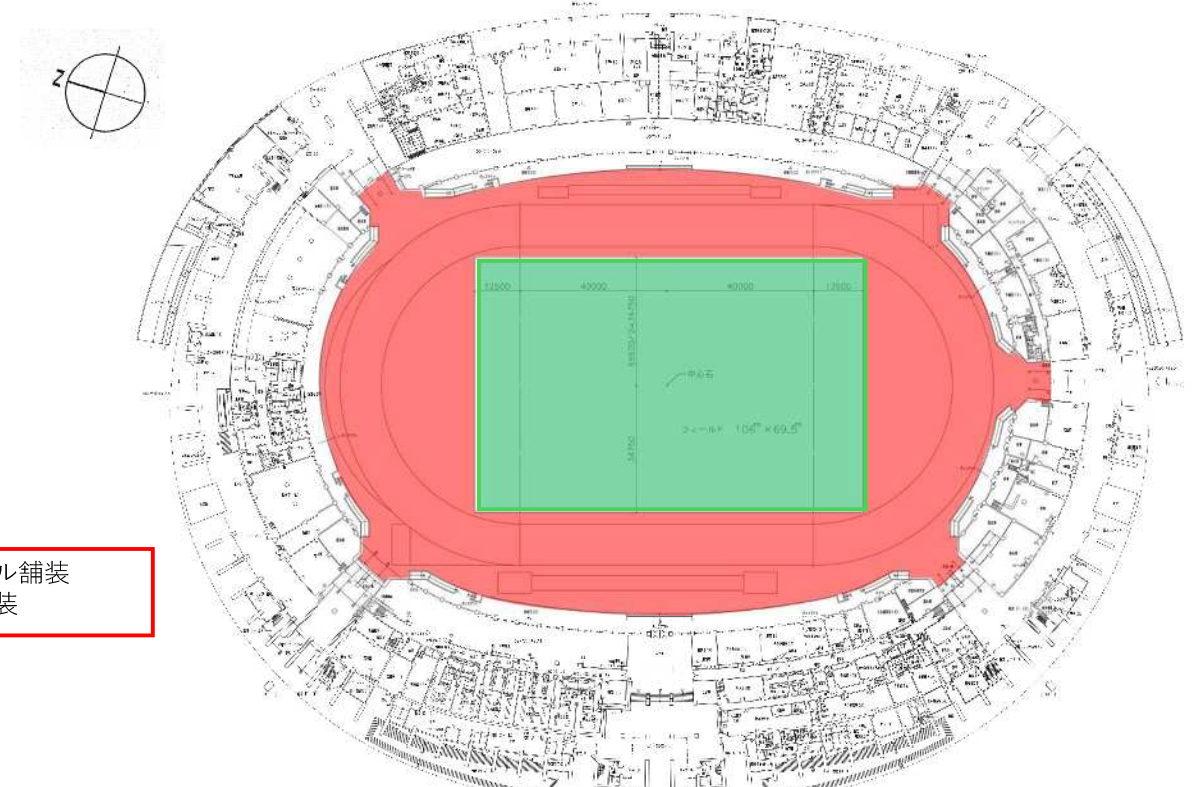
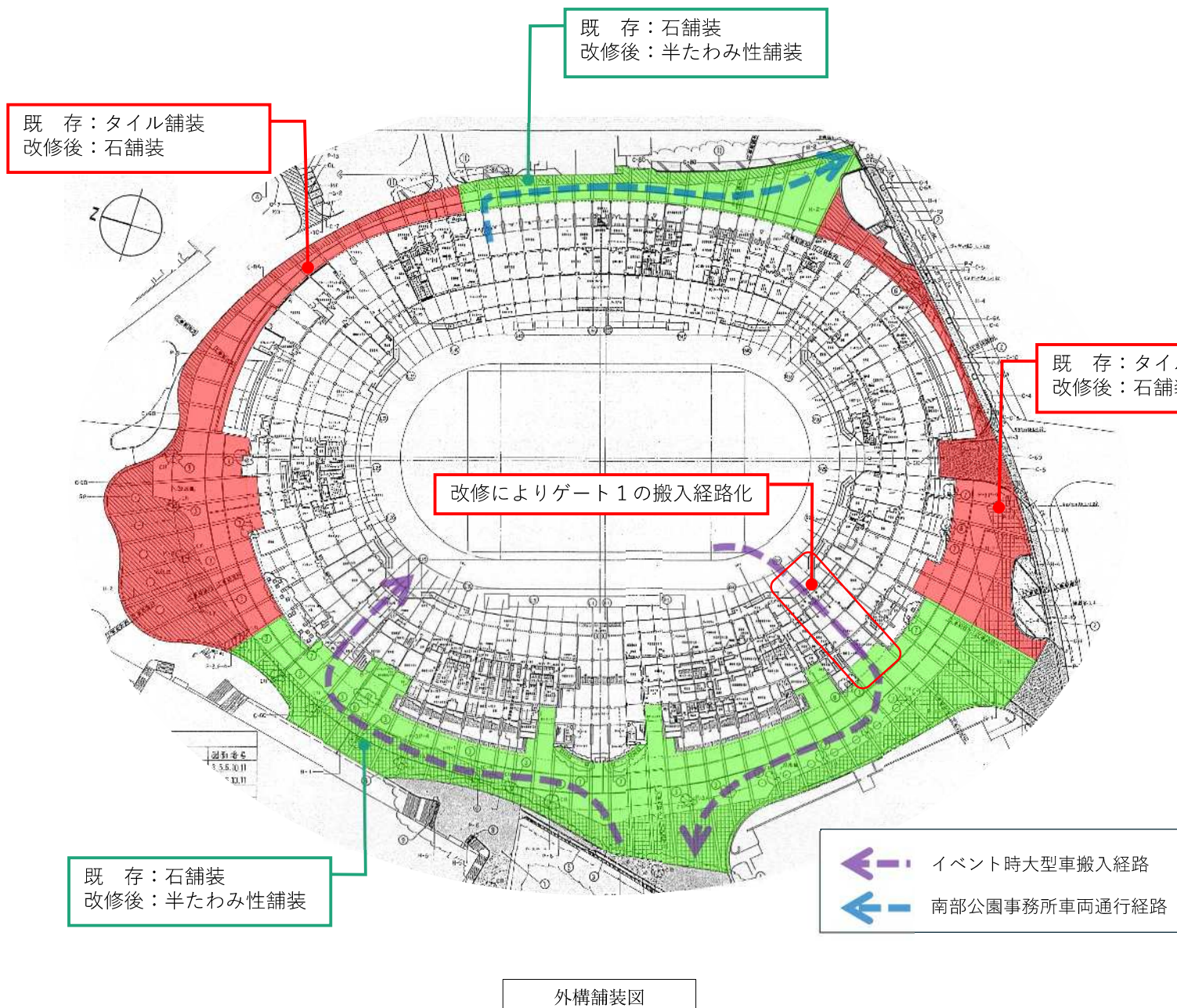
● フィールド：ウレタン舗装・芝

今回の改修工事では、200 t級のクローラークレーンが必要となる。フィールド内ウレタン舗装面はクローラーの走行に伴い不陸や沈下が生じると考えられる。

これまでのフィールド改修ではオーバーレイ工法で表層のみの更新であったため、下地層の密粒アスコン層、開粒アスコン層は今回の改修工事完了時には耐用年数を超過する。

上記より、今回の大規模改修では下地層を含めたウレタン舗装の全面更新を行う。尚、ダッグアウトのウレタン舗装については、今回の改修項目内の雨水ピット新設を行う際の仕上げ工事にて全面更新が必要である。

フィールドの芝については、フィールド内に長期間重機や資材があることから、長期間にわたり十分な管理を行えない状態が続き、劣化は免れないため、全面改修が必要である。



ウ 不具合是正のための修繕・機能改修

- ダッグアウト廻り諸室の床上浸水

「ア 老朽化更新 ● フィールドゾーン（屋外）（P.94）」で記載のとおり。

- トレーニングセンターの床下からの浸水

「ア 老朽化更新 ● フィールドゾーン（屋外）（P.94）」で記載のとおり。

- コンコース下階への漏水

「ア 老朽化更新 ● 観客ゾーン（コンコース）（P.92）」で記載のとおり。

- シャッター危害防止装置の未設置について

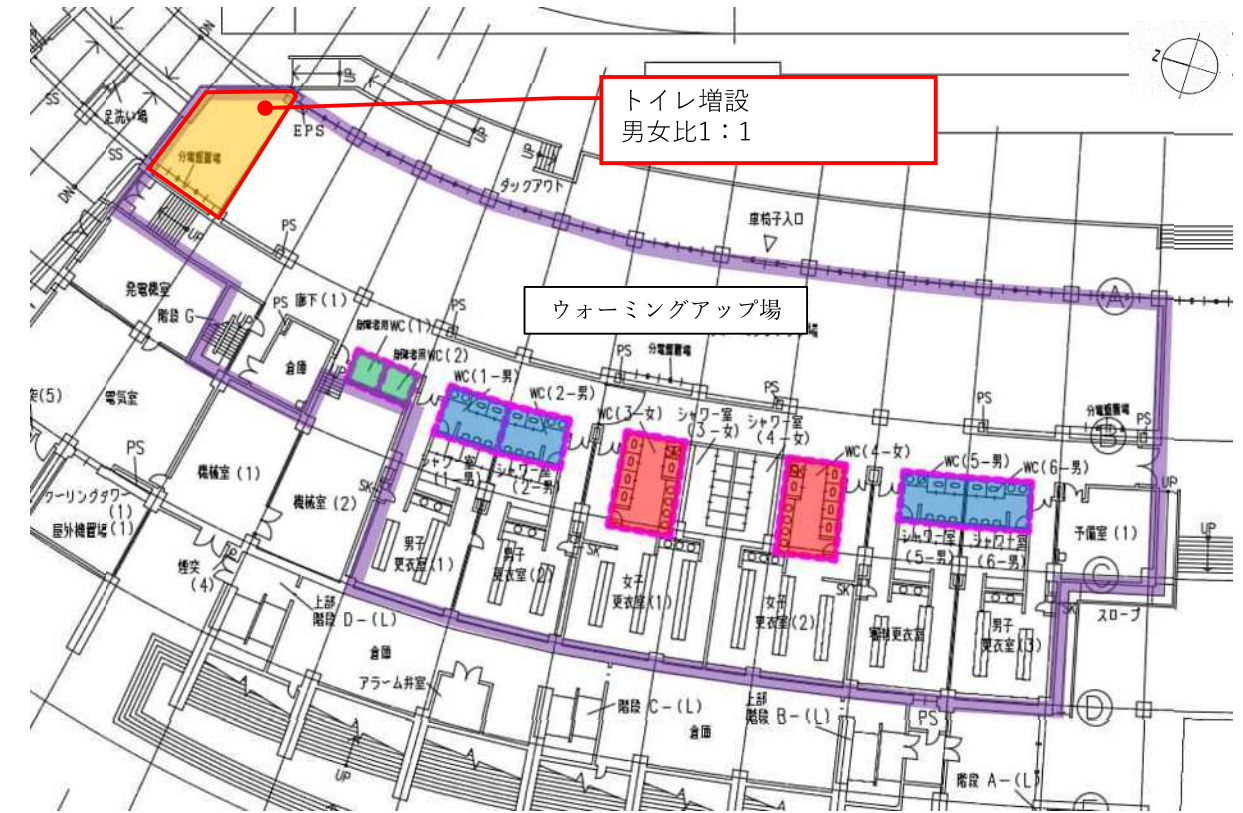
防火設備点検（12条点検）で指摘のあった5か所に加え、レストランY、M（現 陸上協議会関連団体室、倉庫）内の2か所を加えた計7か所に危害防止装置を設置する。



1階建具配置図

- 選手ゾーン：トイレ個所数不足

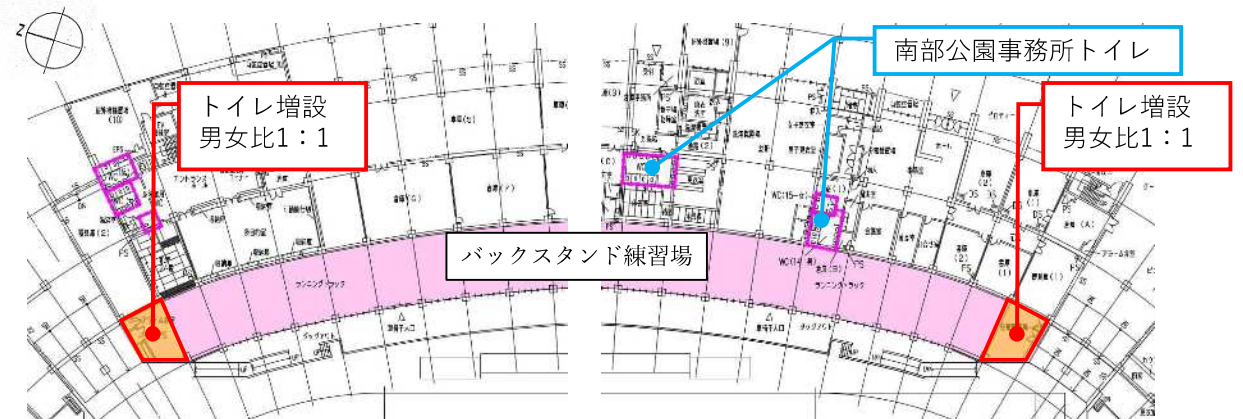
選手ゾーンにトイレが不足しているため、屋内練習場端部へのトイレ増設を行う。



1階平面図

- バックスタンド練習場：トイレ未設置

バックスタンド練習場にトイレを設置する。



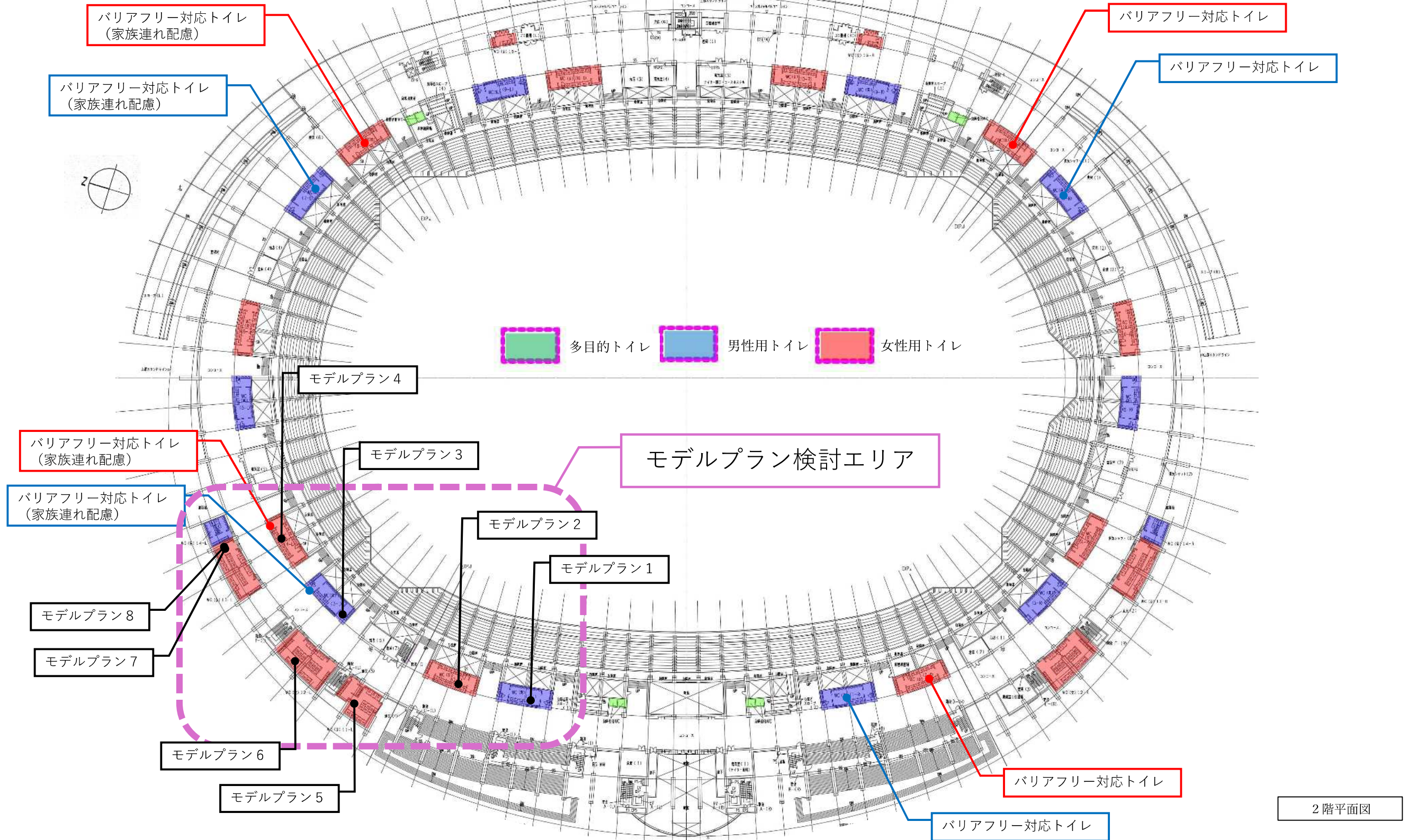
1階平面図

エ ユニバーサルデザイン・バリアフリー

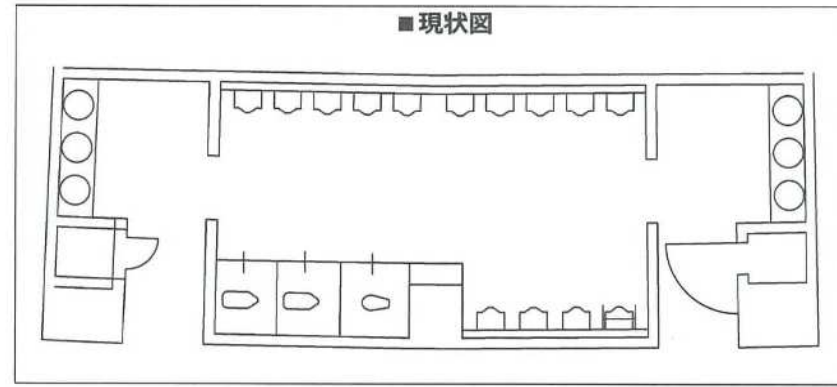
● 観客用トイレ

トイレの洋式化、乾式化等に併せて、器具数の増設、混雑緩和対策、バリアフリー化を行う。

トイレバリアフリー化方針



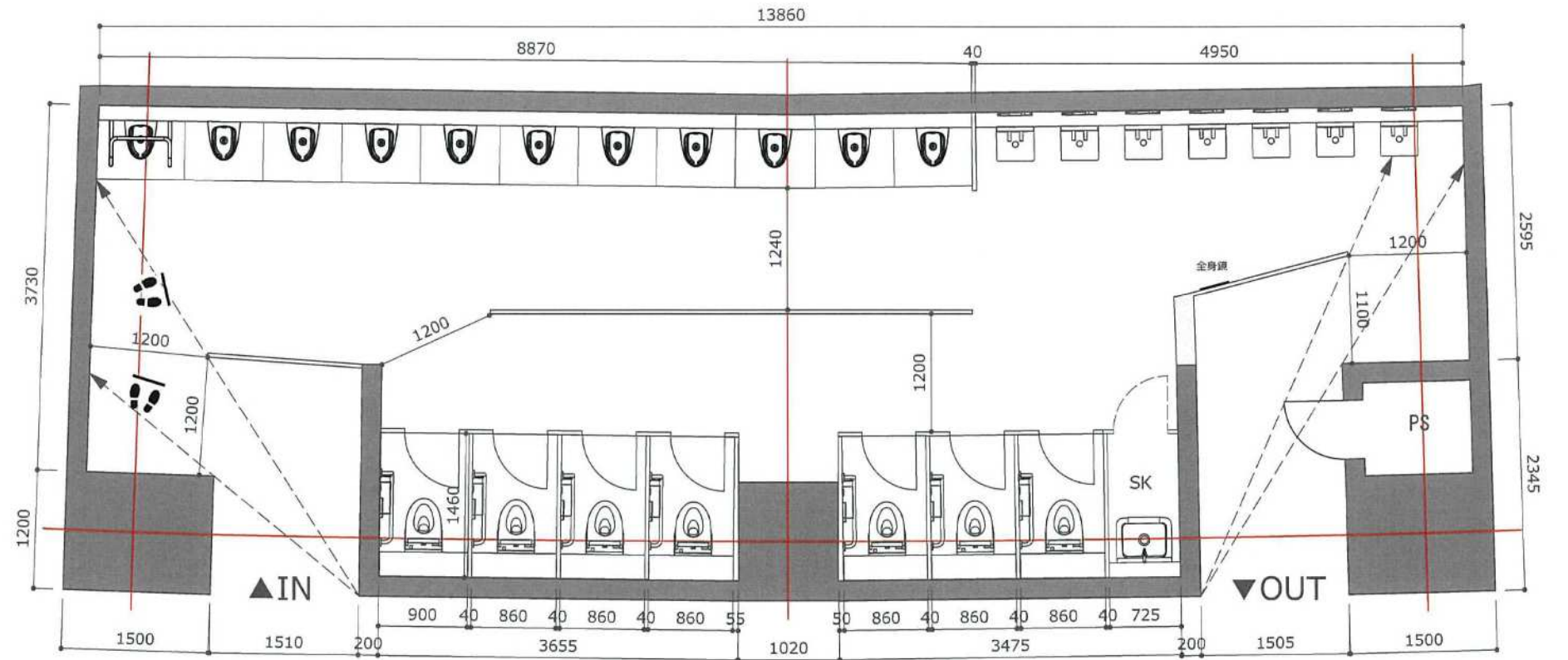
■ モデルプラン1



■ 器具数

	現状	ご提案
大便器	3	7
小便器	14	11
洗面器	6	7

Aプラン

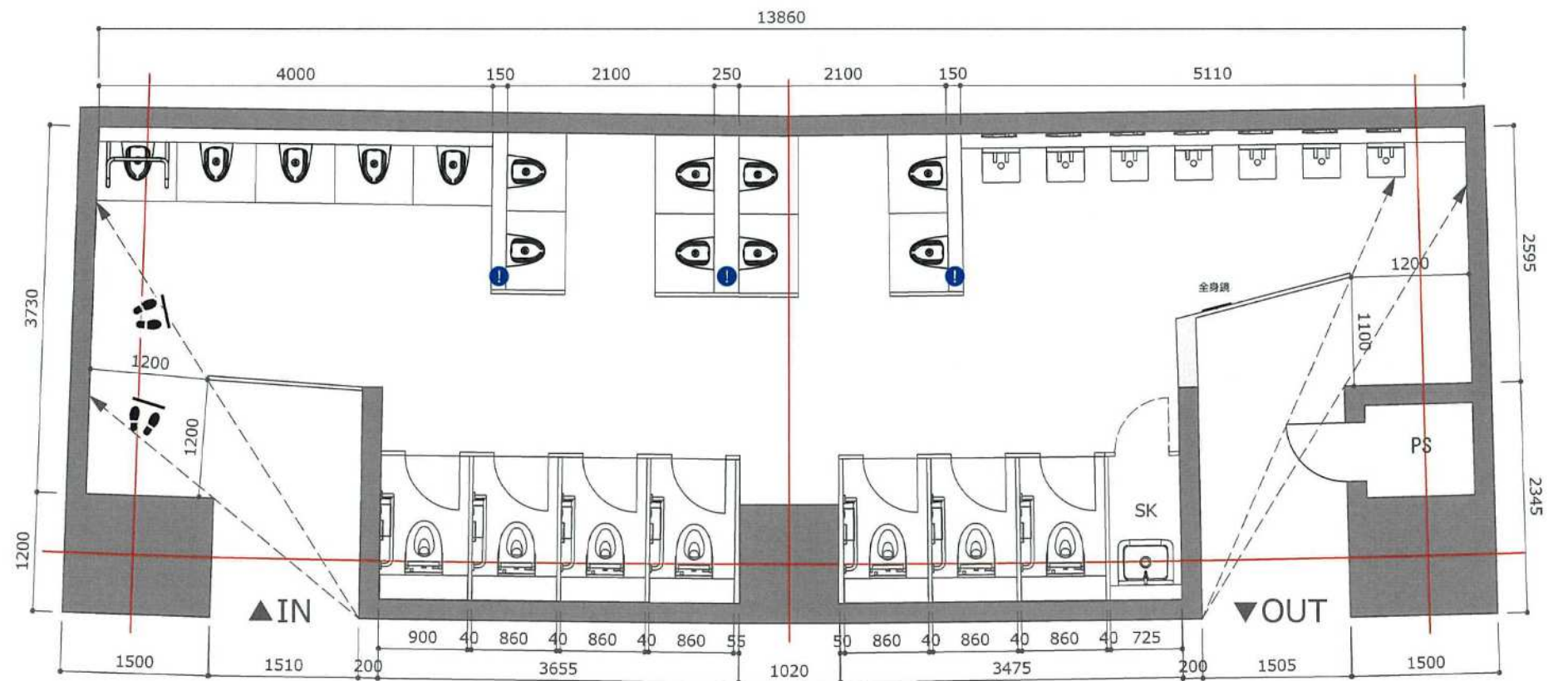


- ① 空き状況が分かりやすく、覗きこみがしにくいように、ライニング高さは目線高さとする。

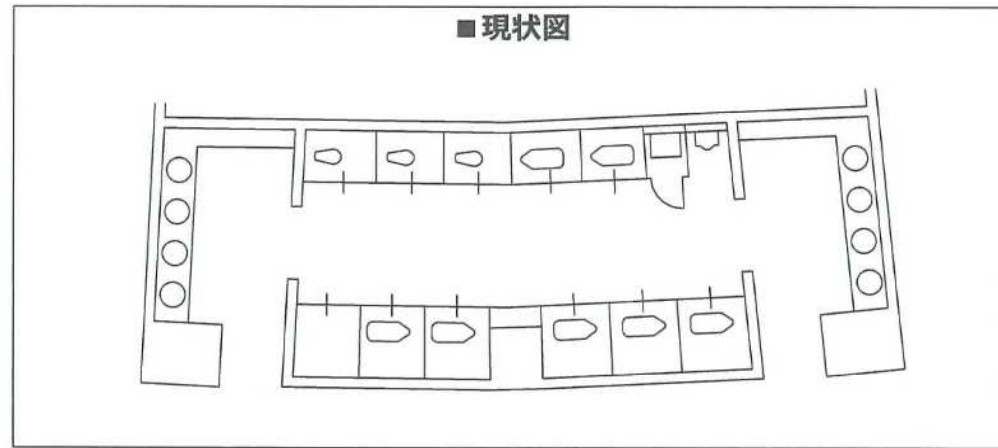
■ 器具数

	現状	ご提案
大便器	3	7
小便器	14	13
洗面器	6	7

Bプラン

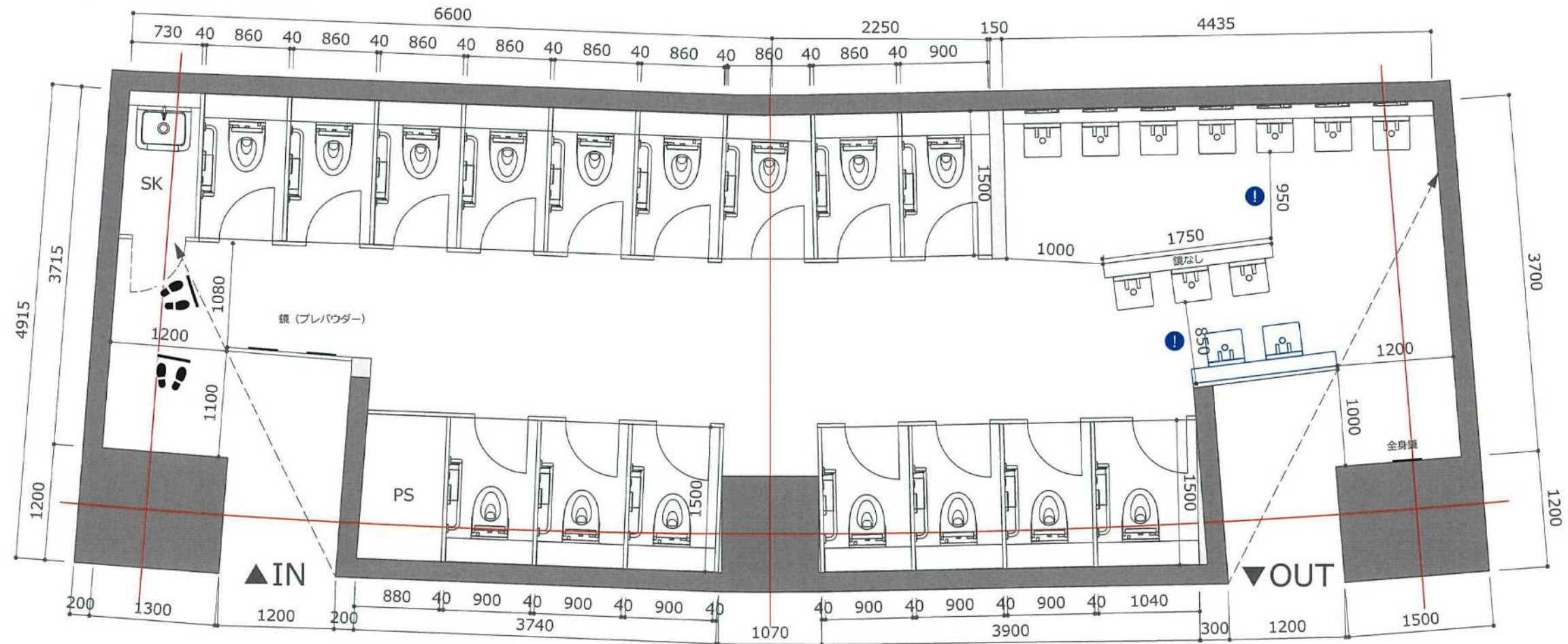


■ モデルプラン2



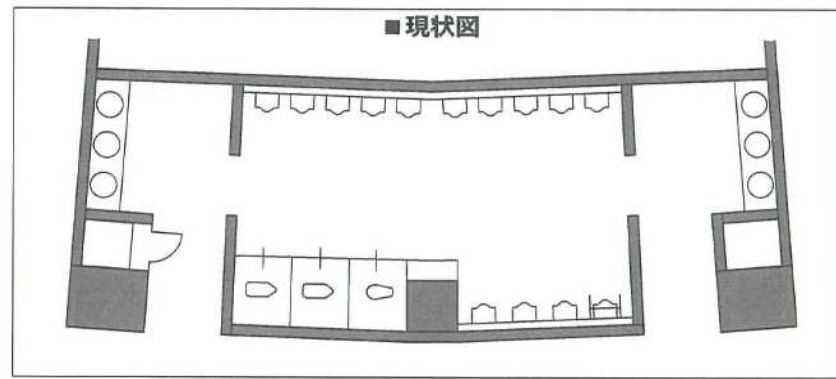
■ 器具数

	現状	ご提案
大便器	10	16
洗面器	8	10 (※9)



❗ 手洗いと歩行が同時の場合はスペースが狭くなる。  
 (別案) 洗面器を対面側に配置する。(洗面器3→2)

■ モデルプラン3

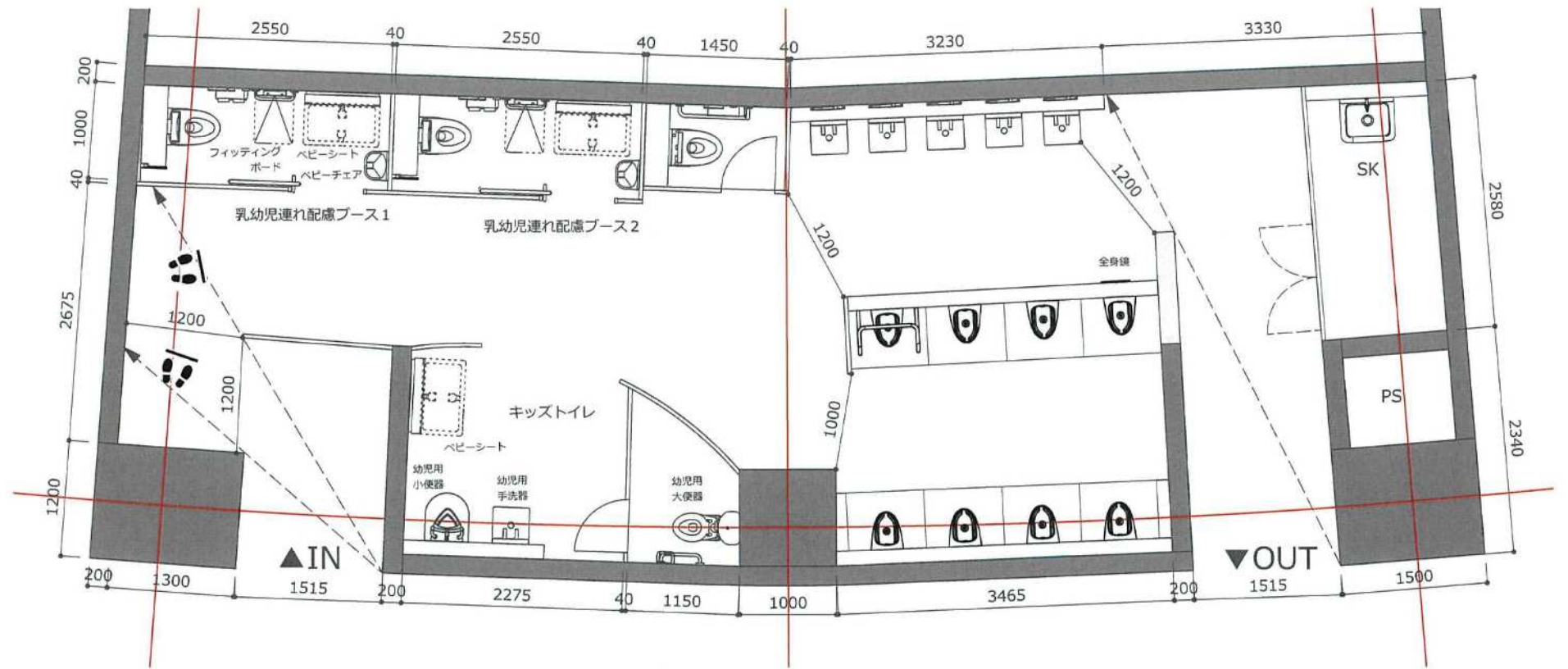


■ 器具数

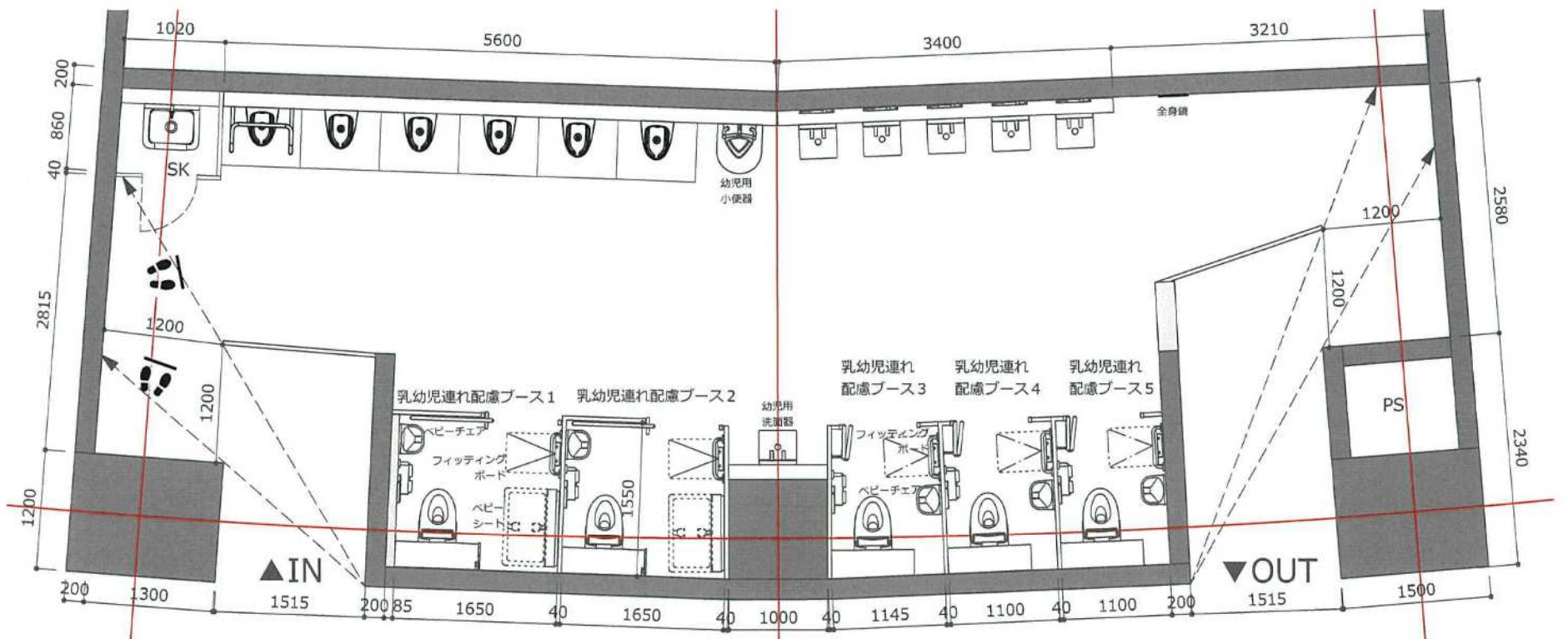
	現状	ご提案
大便器	3	3+1 (幼児用)
小便器	14	8+1 (幼児用)
洗面器	6	5+1 (幼児用)

Aプラン

家族連れ配慮(キッズトイレ有)



家族連れ配慮(キッズトイレ無)

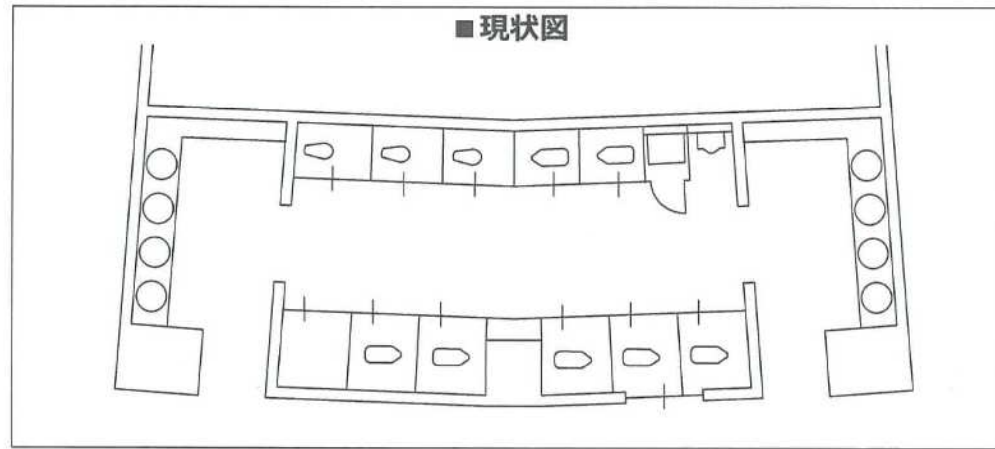


■ 器具数

	現状	ご提案
大便器	3	5
小便器	14	6+1 (幼児用)
洗面器	6	5+1 (幼児用)

Bプラン

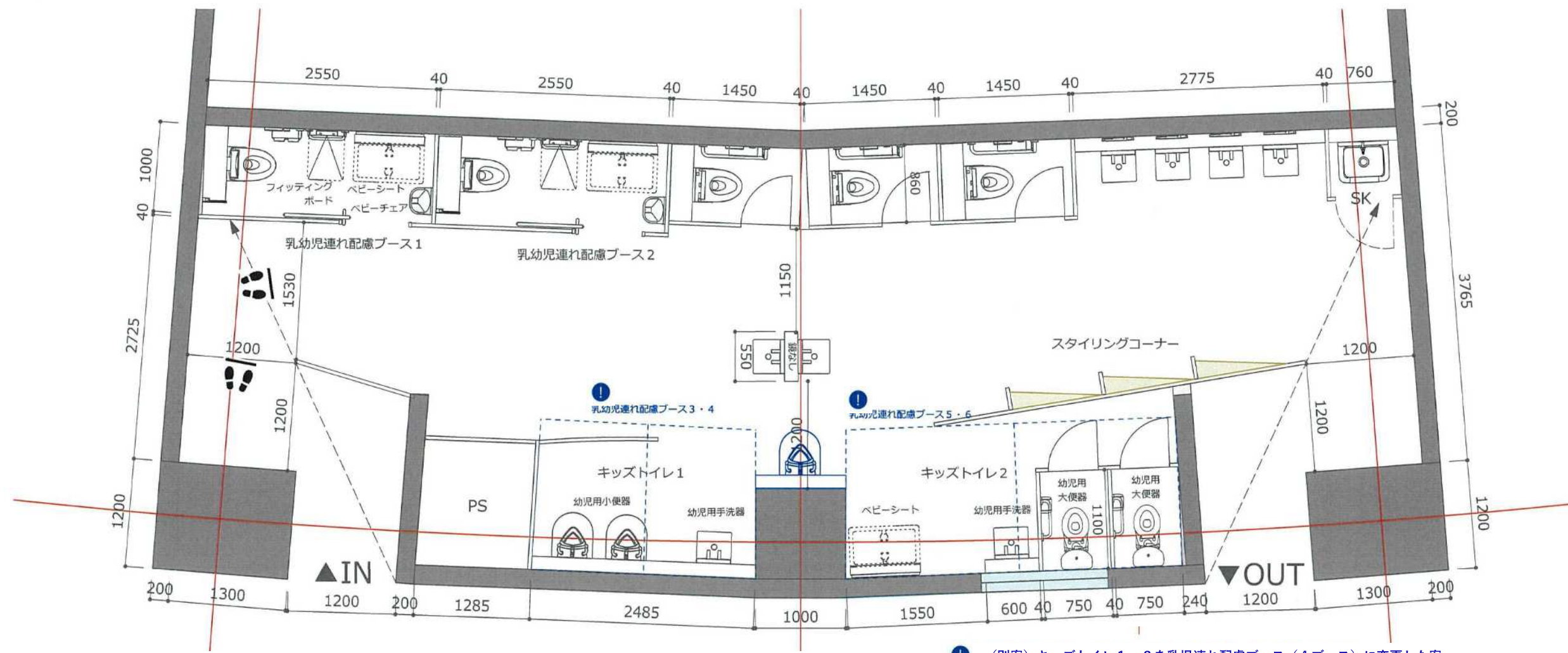
■ モデルプラン4



■ 器具数

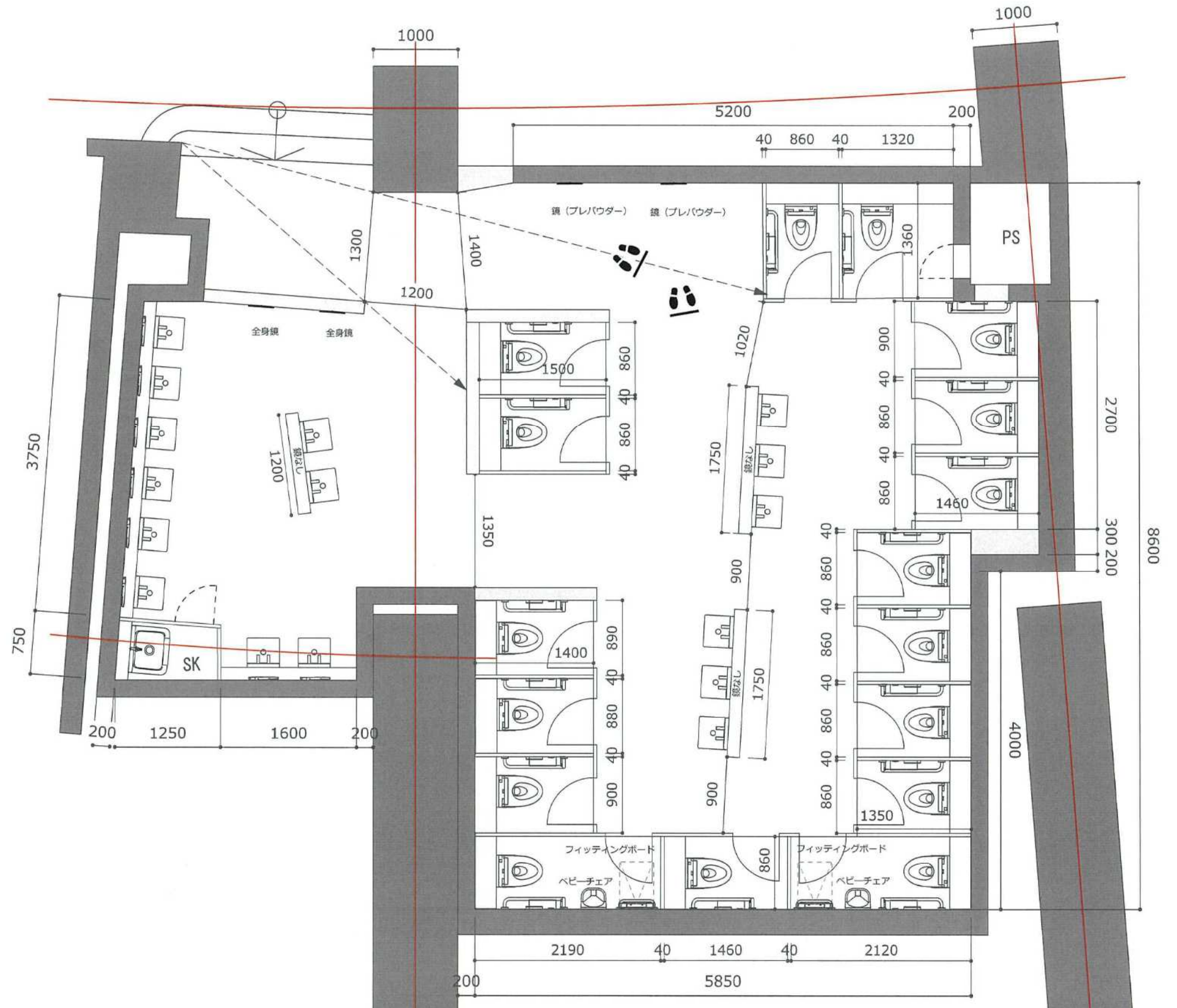
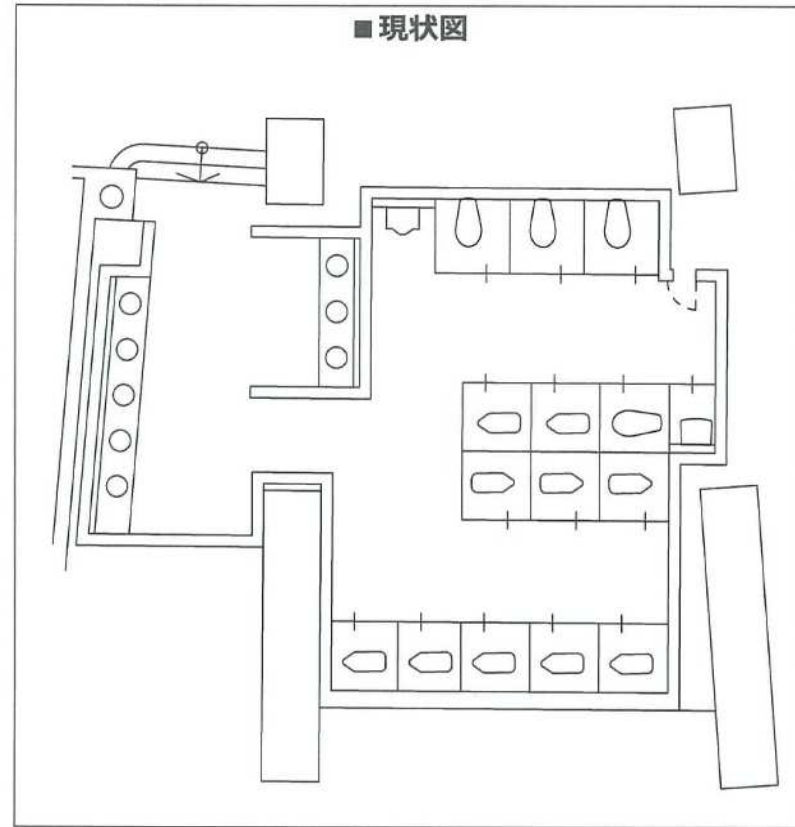
	現状	ご提案	キッズトイレ無
大便器	10	5+2 (幼児用)	9
幼児用小便器	1	2	1
洗面器	8	6+2 (幼児用)	6+2 (幼児用配慮ブース5・6 : 手洗器付とした場合)

家族連れ配慮 (キッズトイレ有)



❗ (別案) キッズトイレ1・2を乳児連れ配慮ブース(4ブース)に変更した案

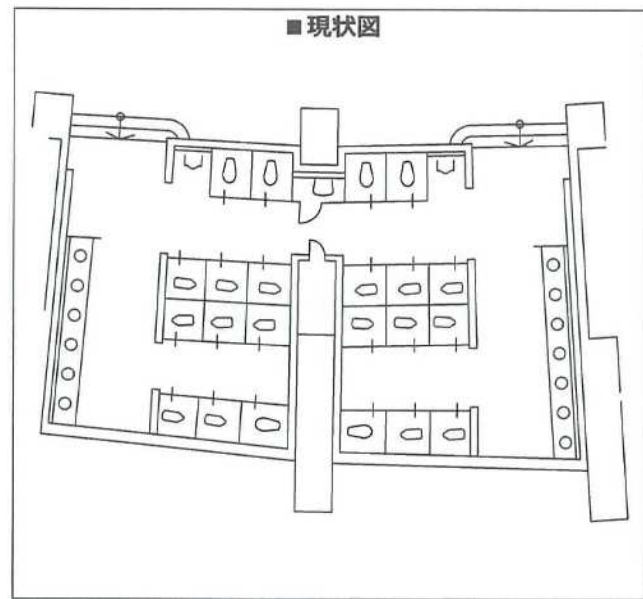
■ モデルプラン5



■ 器具数

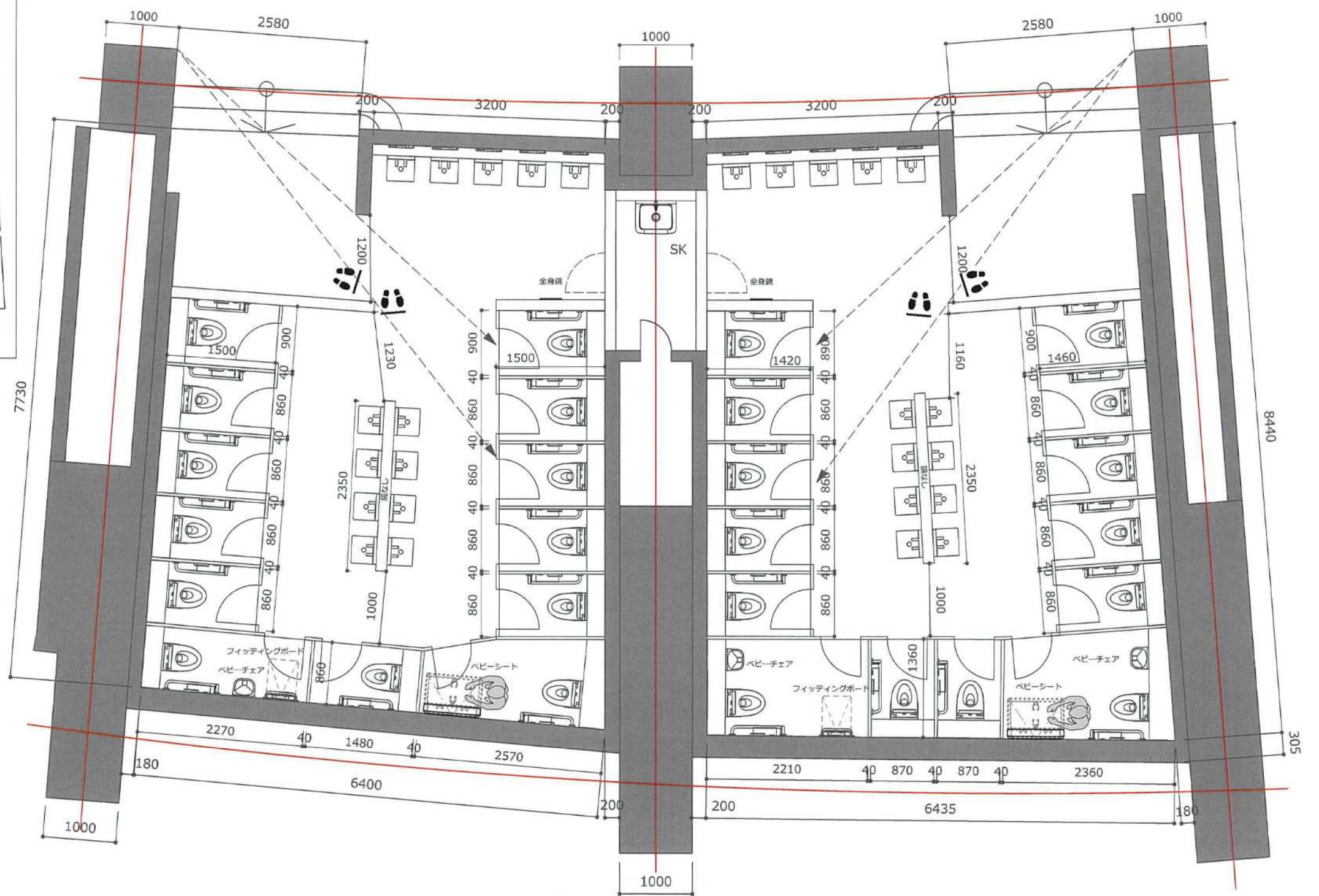
	現状	ご提案
大便器	14	17
洗面器	8	16

■ モデルプラン 6

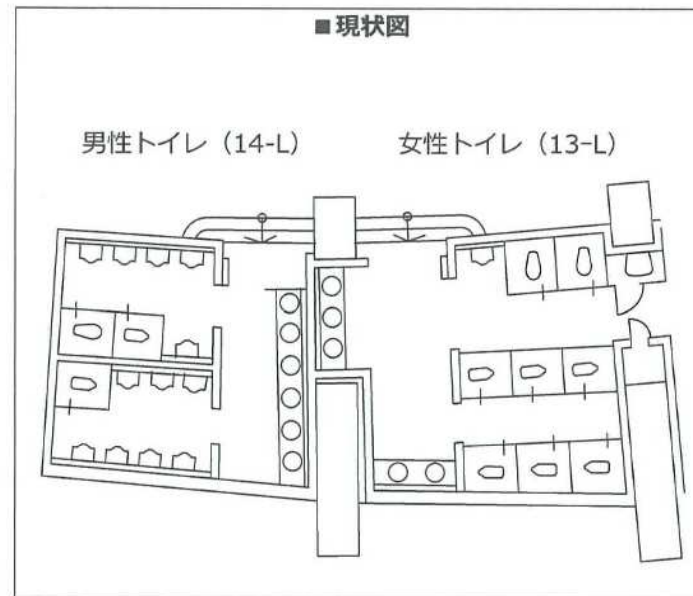


■ 器具数 (Number of Fixtures)

	現状 (Current)	ご提案 (Proposal)
大便器 (Toilets)	22	27
洗面器 (Sinks)	13	26

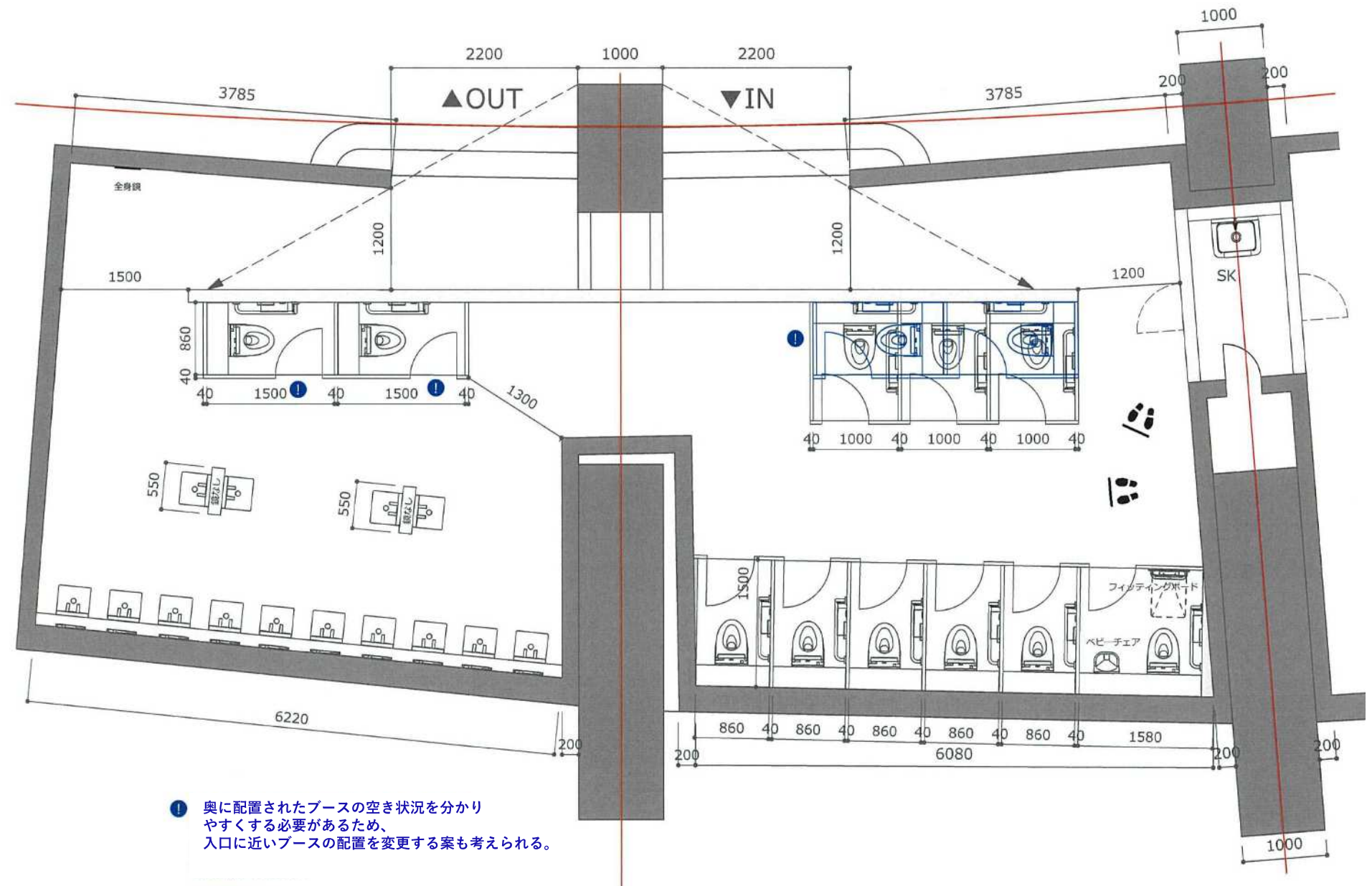


■ モデルプラン7

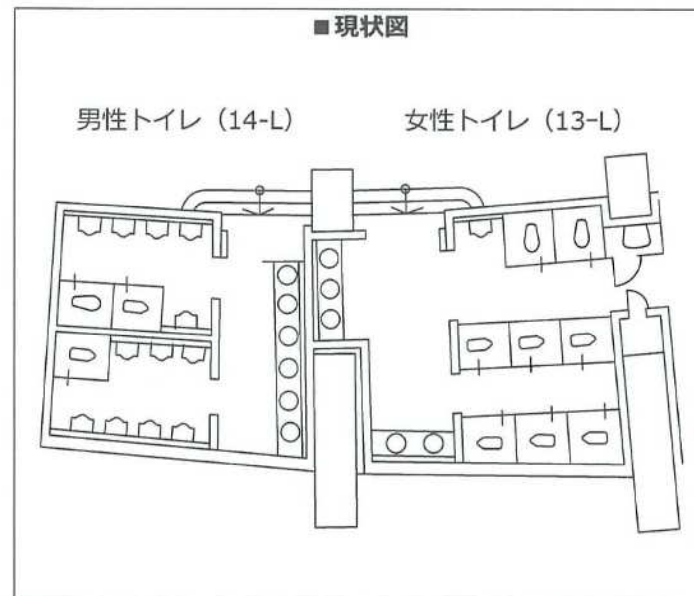


■ 器具数

	現状 女性13-L (※14-L側) + 男性14-L	ご提案 : A 女性トイレに統合
大便器	8 + 3	11 (※10)
小便器	12	—
洗面器	5 + 6	14

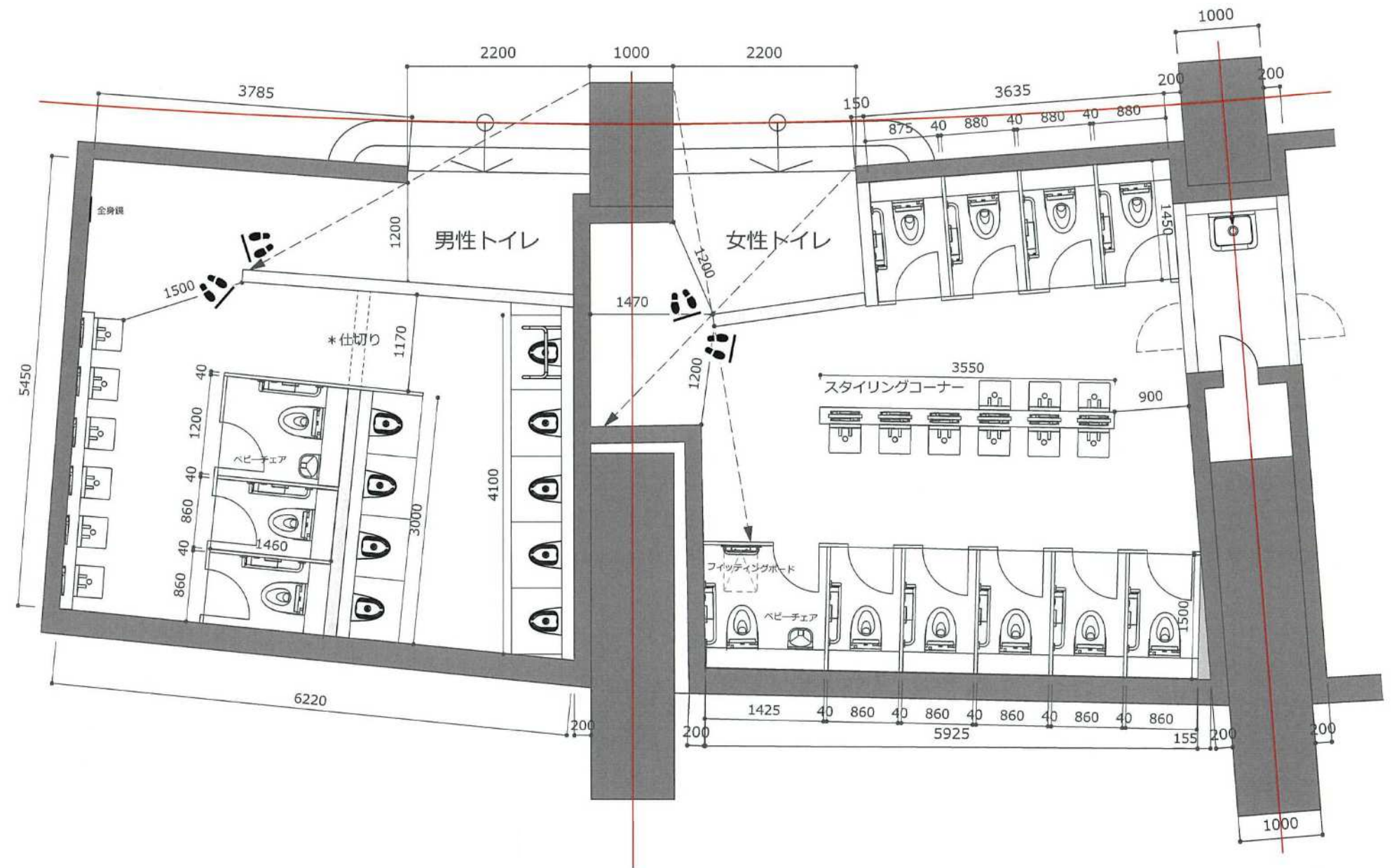


■ モデルプラン 8



■ 器具数

	現状 女性13-L (※14-L側) + 男性14-L	ご提案 : B 男性トイレ(14-L) を維持
大便器	8 + 3	10 + 3
小便器	12	9
洗面器	5 + 6	9 + 6



● サイン

既存サインは全て撤去し、現代のユニバーサルデザインの考えに即したもの（新国立競技場で使用されているもの）に取り替える。サイン表記は認識しやすい色彩計画とし、大きさ、設置高さ、フォント等の視認性に配慮したものとする。また、多言語化を行い、触知案内サイン、音声誘導装置の導入を行う。その他、デジタルサイネージを設置し、トイレ利用率の表示を行うことで混雑緩和を図ったり、施設利用者への情報発信を行うことで、施設の利便性向上とスポーツ振興を図る改修計画とする。

その他、諸室の室名サイン、フィールド内のゲートサイン等も経年劣化が著しいことから、全て取り替える。



【参考写真 東京新国立競技場 サイン】



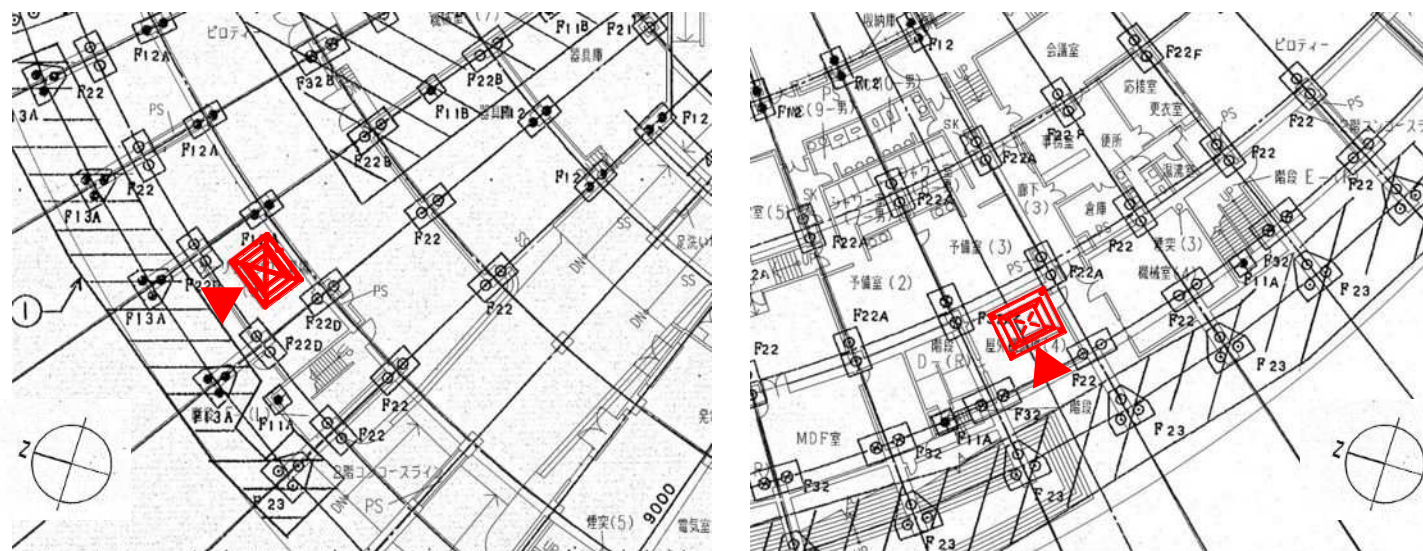
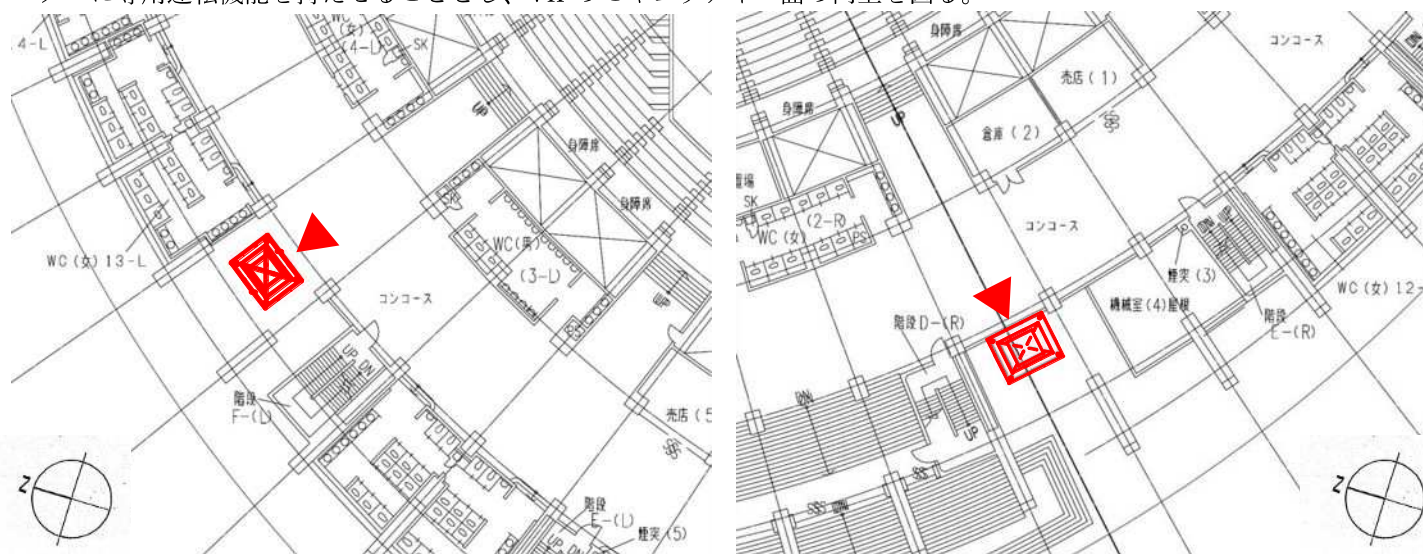
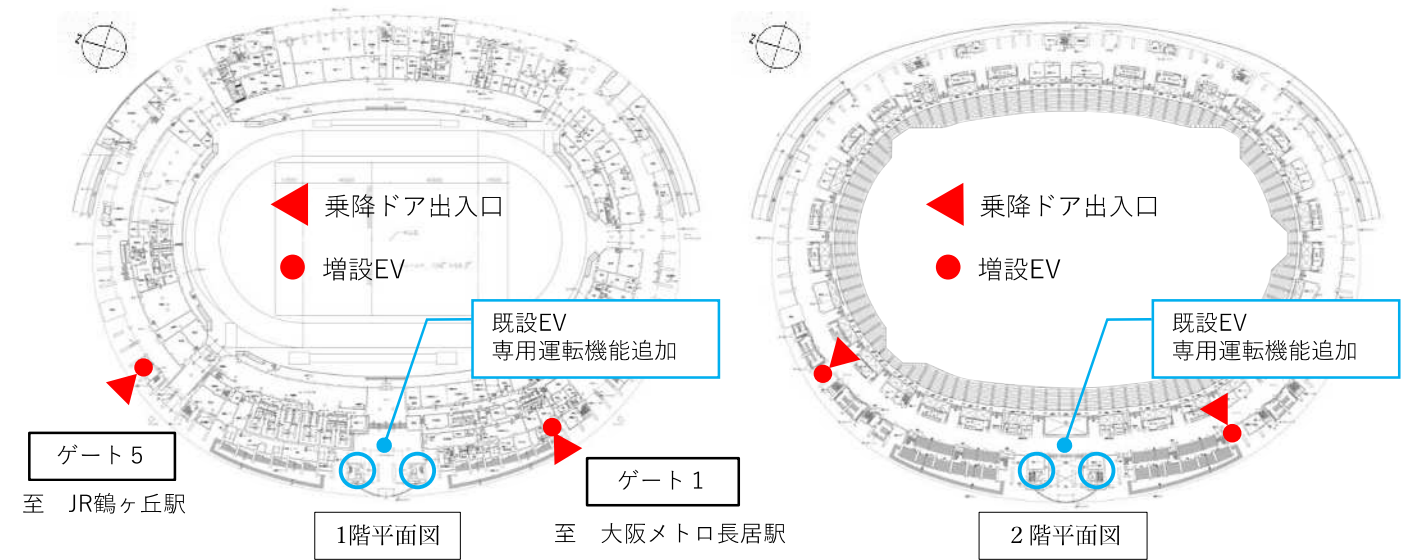
【参考写真 横浜国際総合競技場 サイン】

【参考写真 等々力陸上競技場 情報モニタ】

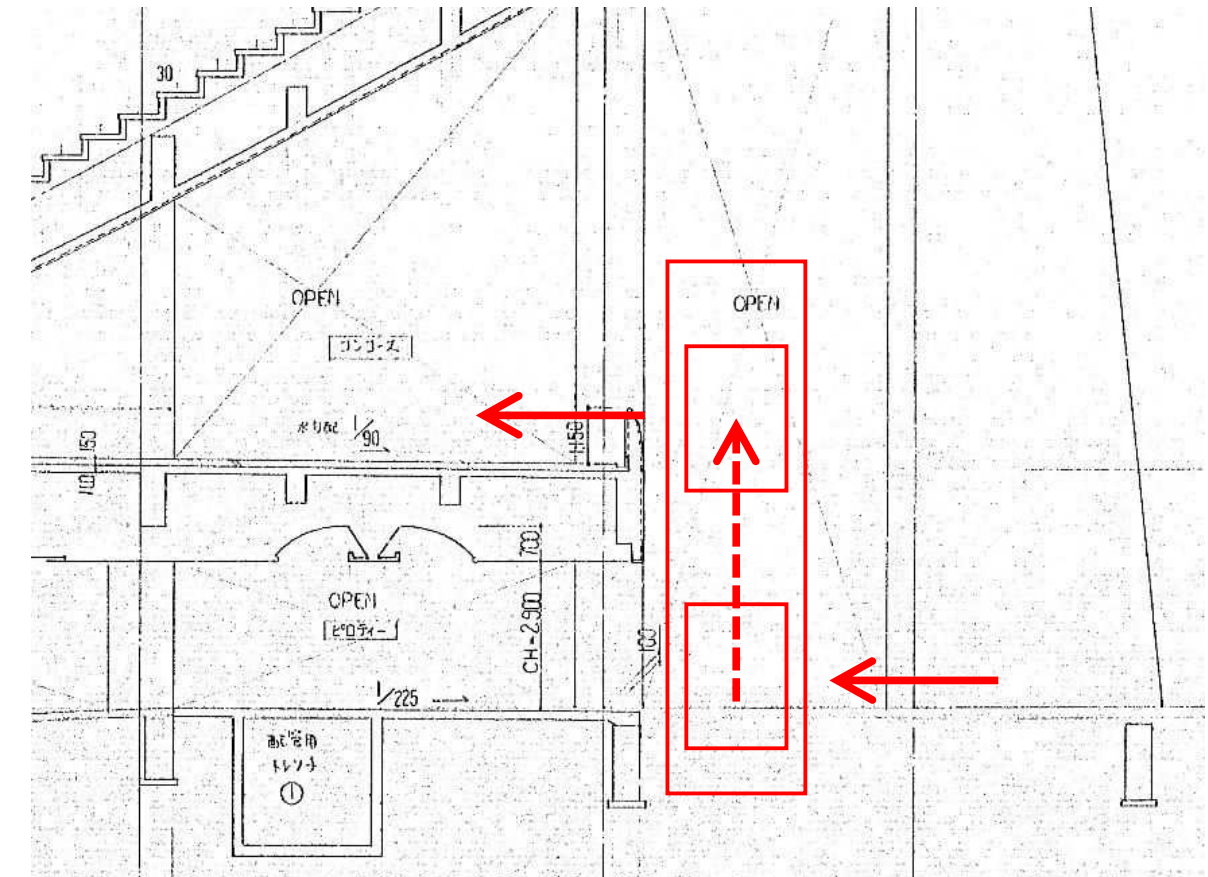
● アプローチ

現施設のバリアフリー動線は2階コンコースに通じる南北2か所のスロープ及びエントランスロビーに設置されている2基のエレベーターとなっている。しかしながら、スロープにおいては高低差が約5メートル、スロープ経路長が約80メートルあり、車いす利用者の単独利用は難しい。更に幅員が約1.5メートルと狭く、非常に使い勝手が悪い経路となっていることから、利用頻度は極めて低い状態となっている（P.49参照）。一方、エレベーター動線は1階から2階コンコース、4階VIPゾーン、5階メディアゾーンに至る唯一のエレベーター動線となっていることから、観客、VIP、メディア、大会やイベントの主催者と動線が交錯しており、特に観客の利用にあたっては利用制限が生じている。また、動線の交錯から、VIPのセキュリティの確保ができていない。

これらの諸問題を踏まえ、バリアフリー動線の改修として、外構から直接乗降が可能な2階コンコースに至るエレベーター（20人乗を想定）の増築を行うこととする。尚、既存廻りを受けることのない範囲としなければならないことから、増築面積が制限されるため、2階レベルで連絡デッキを設けない配置とする。エレベーター増設によって、既設エレベーターにおける観客とVIPとの動線は分離されるものの、VIP、メディア、主催者の動線は交錯が続いている。この問題を解決する改修として、既設エレベーターに専用運転機能を持たせることとし、VIPのセキュリティ面の向上を図る。



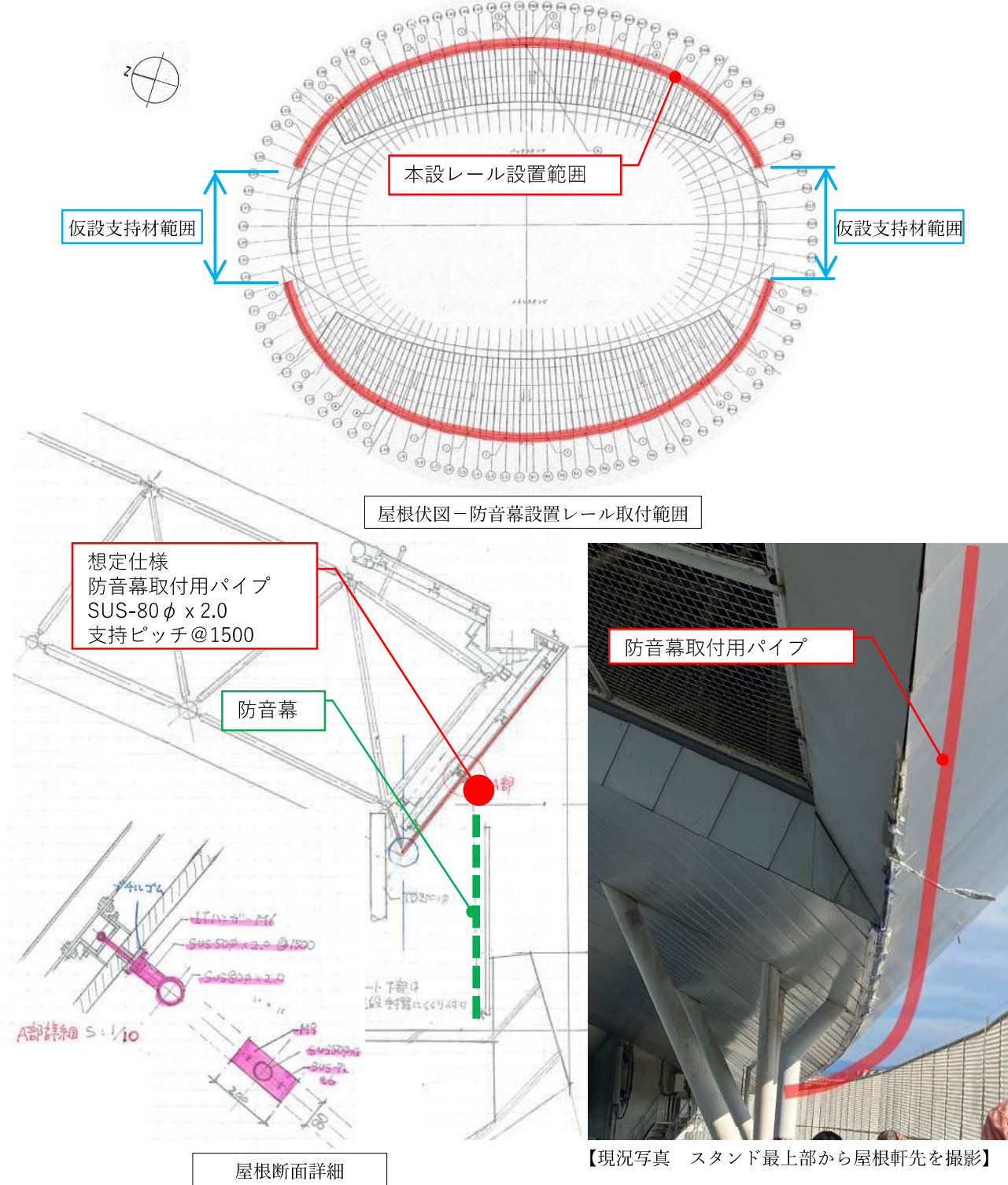
想定EV仕様	
定員	: 20人
かごサイズ	: 間口1800 奥行1700
必要シャフト有効	: 間口2925 奥行1700
シャフト外形	: 3800 x 3000 (11.4㎡程度)
ピット深さ	: 1400



オ 近隣対策（防音）

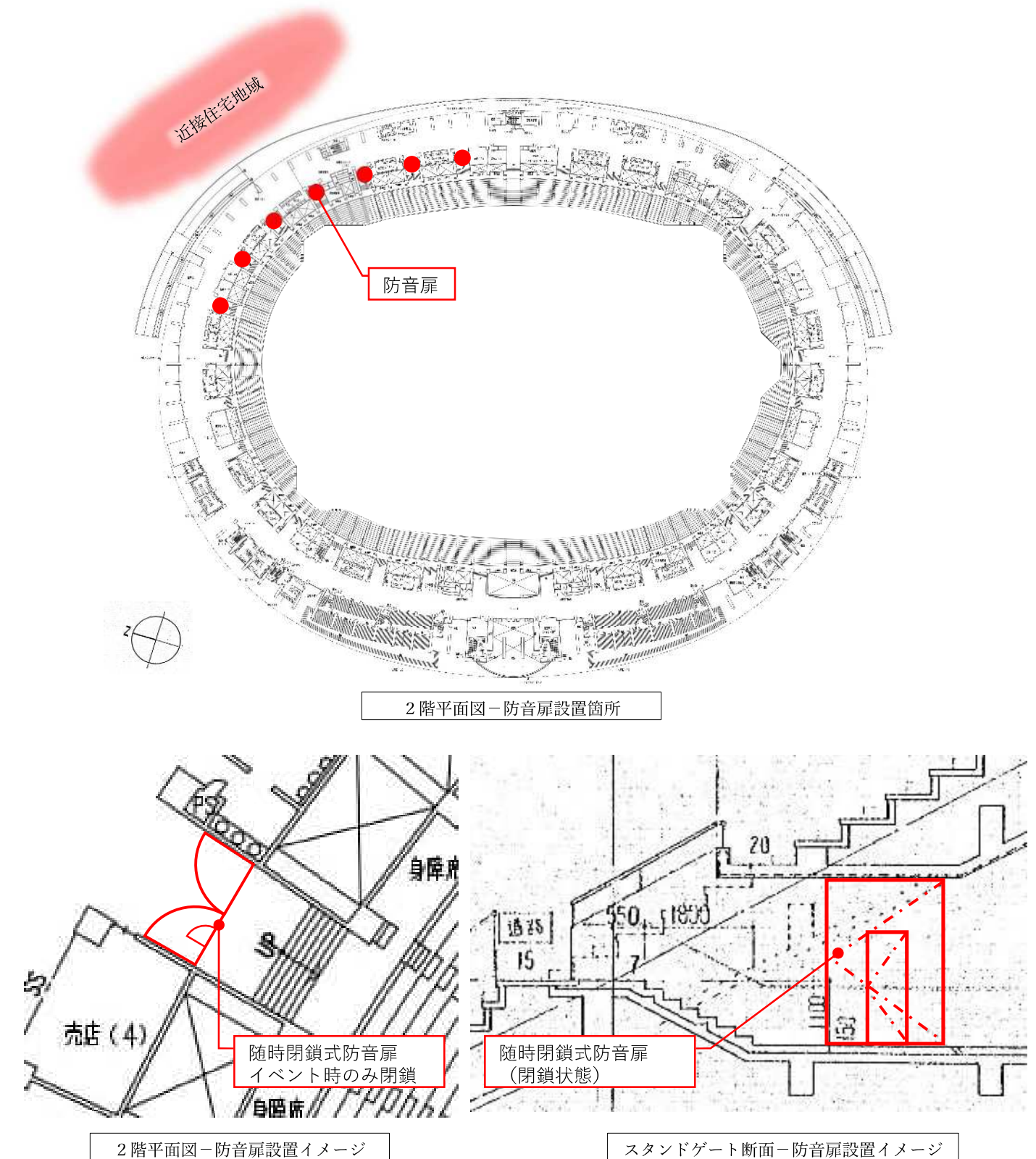
● 屋根

イベント開催時に、スタンド最上部と屋根の軒先間に防音幕の設置を行うことで周辺への騒音対策を行っているが、現施設の屋根軒先部には防音幕を設置できる支持材がない。そのため、イベント毎にイベント事業者が全周に仮設支持材を設置し防音幕の設置を行っているが、飽くまで仮設であり、十分な防音にはならない。また、高所作業となるため危険を伴い、会場設営に時間を要している原因の1つにもなっている。従って、屋根軒先部にレール状の防音幕設置用金属製パイプを設置することとし、仮設支持材の設置場所を減らすことで会場設営に要する時間の短縮も図る。



● スタンドゲート

北東エリアは住宅地域が近接しており、イベント時の防音には特に配慮が必要である。特にスタンドゲートからの音漏れは深刻であり、現状では仮設の防音幕で対応している状況だが、防音効果は不十分であることから、今回の改修計画では防音対策を行うこととする。



i.受変電設備

1.特高受電設備

特高受電室内の受変電設備を更改する。仮設テイクオフ盤を設置し、長期停電を行わずに系統ごとに順次更改を行う。NWトランス搬入時に、特高受電室前の天井・擁壁を解体し搬入装置を設置して搬入をおこなう。

<対象設備>

- ・特高受変電室  
受電盤  
NWトランス2,000kVA・モールド ×3基  
プロテクタ盤  
NW母線連絡盤  
A系テイクオフ盤  
B系テイクオフ盤  
VCB盤  
コンデンサ盤  
直流電源盤

2.直流電源装置

電気室内にある直流電源装置を更改する。

<対象設備>

- ・第1電気室  
直流電源装置(50A)  
蓄電池盤(240Ah)
- ・第2電気室  
直流電源装置(50A)  
蓄電池盤(240Ah)
- ・第3電気室  
直流電源装置(50A)  
蓄電池盤(240Ah)
- ・電光表示電気室  
整流器(4000A)

3.高圧受電設備

第1～4電気室、メインナイター・バックナイター電気室、電光操作電気室、大型映像電気室内の受変電設備を更改する。合わせて特高受電室までの高圧ケーブルも更改とする。原則、給電エリアを一定期間停電してキュービクルを撤去・更改とするが、第3電気室は共有エリアの事務所が運用されているため空きスペースにキュービクルを設置し切り替えることで極力停電時間の短縮を図る。管理事務所は停電期間中の仮設電源を用意する。空調更改に伴い新しく幹線を敷設する。

<対象設備>

- ・第1電気室  
受電盤  
饋電盤×2基  
電灯変圧器盤No.1 1φ300kVA・モールド  
電灯変圧器盤No.2 1φ250kVA・モールド  
非常電灯盤 1φ200kVA・モールド  
動力変圧器盤No.1 3φ200kVA・モールド  
動力変圧器盤No.2 3φ250kVA・モールド  
非常動力盤 3φ300kVA・モールド  
スタジアム音響変圧器盤 1φ50kVA・モールド
- ・第2電気室  
受電盤  
電灯変圧器盤No.1 1φ200kVA・モールド  
電灯変圧器盤No.2 1φ300kVA・モールド  
動力変圧器盤No.1 3φ200kVA・モールド  
動力変圧器盤No.2 3φ150kVA・モールド

・第3電気室

- 受電盤  
饋電盤  
電灯変圧器盤No.1 1φ250kVA・モールド  
電灯変圧器盤No.2 1φ100kVA・モールド  
動力変圧器盤No.1 3φ300kVA・モールド  
動力変圧器盤No.2 3φ200kVA・モールド

・第4電気室

- 受電盤  
電灯変圧器盤 1φ150kVA・モールド  
動力変圧器盤 3φ200kVA・モールド

・メインナイター電気室

- 受電盤  
メインナイター照明変圧器盤No.1 3φ500kVA・モールド  
メインナイター照明変圧器盤No.2 3φ500kVA・モールド  
電灯変圧器盤 1φ250kVA・モールド

・バックナイター電気室

- 受電盤  
メインナイター照明変圧器盤No.1 3φ400kVA・モールド  
メインナイター照明変圧器盤No.2 3φ400kVA・モールド  
電灯変圧器盤 1φ100kVA・モールド

・電光操作電気室

- 受電盤  
電灯変圧器盤 1φ20kVA・モールド  
動力変圧器盤 3φ750kVA・モールド  
コンデンサ盤 r13% 34.5kvar・モールド

・大型映像電気室

- 受電盤×2基  
饋電盤  
電灯変圧器盤 1φ250kVA・モールド  
電灯変圧器盤 1φ250kVA・モールド  
電灯変圧器盤 1φ250kVA・モールド  
電灯変圧器盤 1φ3kVA・モールド  
動力変圧器盤 3φ75kVA・モールド

4.非常用発電設備

発電機室内の非常用発電機を更改する。

<更改仕様>

- 非常用発電機 キュービクル形(防音タイプ)・750kVA・3φ3W6600V・60Hz
- 直流電源盤 屋内閉鎖自立型・300Ah
- 発電機制御盤 屋内閉鎖自立型・VCB×1
- 排気消音器 屋内天吊型(75dB以下)
- 燃料小出槽 1950L・A重油
- 冷却水槽 1000L・電動ポンプ1.5kW

ii.照明設備

Hf照明器具・誘導灯・非常照明等をLED照明に更改する。既存器具同等品とし、配線は再利用する。

<対象外エリア>

- ・ユースホステル
- ・公園事務所
- ・1F事務室、共用部のLED化済エリア

### iii. 防災設備

#### 1. 災害報知設備

火災受信機は更改済のため、中継器盤を更改する。感知器・配線は再利用とする。

<対象設備>

中継器盤×13面

#### 2. 非常放送設備

非常放送AMPを更改する。配線・スピーカーは再利用とする。統合マイクパネルを新設し、一つのマイクでスタジアム全体・個別放送が可能なシステムとする。収納架は再利用とする。

<対象設備>

集中遠隔制御盤

非常放送AMP40局/1800W（管理事務所）

非常放送AMP20局/360W（トレーニングセンター）

非常放送AMP20局/360W（ユースホステル）

非常放送AMP20局/360W（総合情報センター）

非常放送AMP20局/360W（公園事務所）

非常放送AMP20局/360W（スタジアム）

### iv. 中央監視設備

センター装置一式を更改する。RS盤は更改済。管理事務室にも操作端末を設置し監視・操作可能なシステムとする。グラフィックパネルは撤去し、モニターで電力監視の表示をする。

<更改仕様>

インターフェース装置×3台

ノートPC×1

液晶モニター23.8型ワイド

レーザープリンター

コントローラ装置

ディスプレイ43型

### v. 大型映像設備

大型映像装置の表示部を更改する。表示素子ピッチを30mm⇒16mmと高精細化し鮮明な映像が表示可能とする。システム部は更新済みのため既存再利用とするが、表示部の更改により部分的に改修する。装置内部の高圧変電設備は更改とする。

<更改仕様>

大型映像装置

表示面寸法 H9,600mm×W24,960mm

表示面積 239.6m<sup>2</sup>

表示素子 フルカラーLED

素子寿命 100,000時間

表示輝度 6,000cd/m<sup>2</sup>

視認角度 水平±65° 垂直+15°、-30°

### vi. スタジアム音響設備

#### 1. スピーカーシステム

スタジアム内のスピーカシステムについて更新を行う。一部更新済（ダッグアウト系統）のスピーカについては流用とし、トータル運用可能なシステムとする。メインスタンド上部のメインスピーカ（ラインアレイ方式：2式・サブウーハ：1式）は撤去とし、カバーエリアであったフィールド及び南北サイドスタンドエリアについては、分散設置方式により追加設置とする。分散スピーカは現状の設置位置をベースとし、不足分に対して新規に設置場所を用意する。各分散スピーカまでの配線は再利用とし、新規追加スピーカ等の必要な配線に関しては新規配線とする。スピーカーシステムの構築には、音響シミュレーションによるスピーカーシステムの配置やカバーエリアの検討を行い、高い音響・演出効果が可能なシステムとする。

#### 2. ネットワークオーディオシステム

放送室内機器及び分散型アンプシステムについて更新を行う。一部更新済みの機器については流用とし、トータル運用可能なシステムとする。アンプ機器類の設置は、現状の分散方式から集中方式へ変更し、メインスタンド側及びバックスタンド側、2か所の音響機器室に集約する。ネットワークオーディオシステムの規格及び構成される機器については、信頼性、耐久性を考慮し、汎用性の高いものを選択する。（Dante Audio Network等）可能な限りデジタルオーディオシステムで構成し、アナログシステムをバックアップシステムとする。オーディオミキサーや出力マトリクスシステムにより、現状の出力コントロール系統数よりの充実を図る。

#### 3. オーディオソース

放送室内のソース機器について更新を行う。ワイヤレスマイクシステムはデジタル方式とし、ハンド型マイク4本、タイピン型マイク4本が使用できるものとする。またダッグアウト内等を除き、場内においてはデッドポイントを極力なくすよう配慮する。

#### 4. 1F放送室音響システム

1F放送室内に設置されている機器について更新を行う。一部更新済みの機器については流用とし、トータル運用可能なシステムとする。メイン放送室との連携により、メイン放送室同様にイベント運用が可能なシステムとする。

#### 5. 中継回線システム

場内のコンセント盤を含む中継回線システムについて更新を行う。

対象の回線は下記の通り

① 場内音響回線（場内演出系）

② 場内映像回線（ビジョン演出系）

③ 中継車回線（中継・収録・配信系）

コネクタ盤本体（筐体）に関しては基本既設流用とし、内部コネクター及びパネルの更新とする。

配線は別途調査により流用可否の判断をし、必要な配線は新規配線として敷設する。

### vii. ITV設備

既設監視カメラの更新を行う。録画はネットワークディスクレコーダーで行うものとし、設置場所は中央監視室とする。中央監視室ではカメラ全台数のモニターが出来るものとする。管理事務室でもモニターが操作できるものとし、映像は既設65型モニターへ映し出す事とする。管理事務室にネットワークディスクレコーダーに録画された映像を確認できる操作パソコンを設置する。PTZカメラの操作は管理事務室で行うものとする。カメラの形状はドーム型とし、録音も行えるものとする。配線は更改し光ケーブルまたはLANケーブルとする。

<更改仕様>

カメラ解像度：フルHD

通信方式：ネットワーク方式

フレームレート：5 FPS

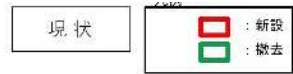
録画映像保存期間：30日間以上

### viii. その他設備

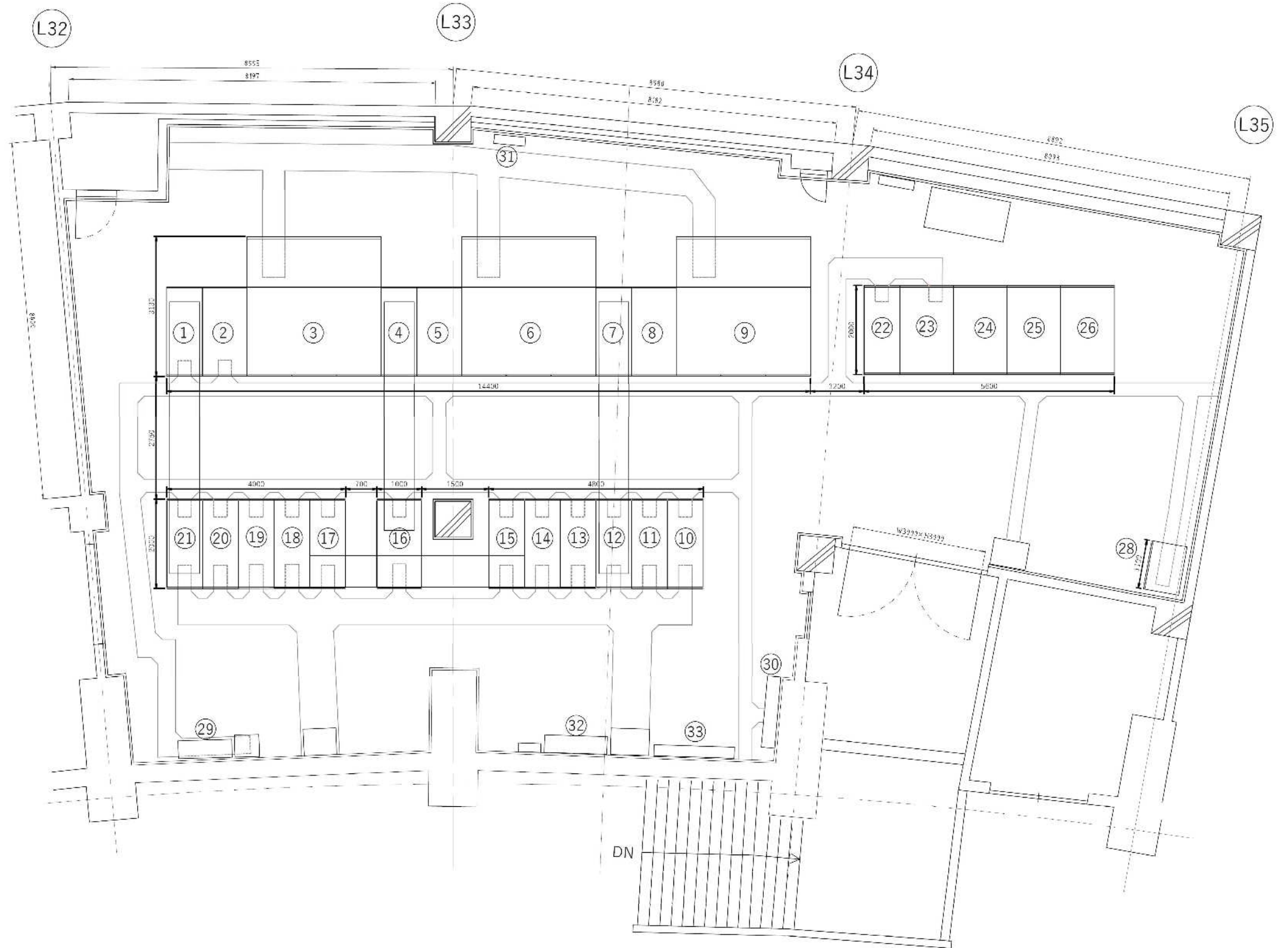
テレビ中継設備の接続端子を更改する。テレビ中継車接続盤（北）～テレビ中継車接続盤（南）間に光マルチケーブル×10を新規に敷設し、光コネクタ×10を設置する。

電気設備-参考資料

i.受変電設備  
1.特高受電設備  
STEP0 (現状)



NO.	名称
1	1号プロテクタ遮断器
2	1号MOF
3	1号変圧器
4	2号プロテクタ遮断器
5	2号MOF
6	2号変圧器
7	3号プロテクタ遮断器
8	3号MOF
9	3号変圧器
10	3号母線接地変圧器
11	上 記念公園
	中 郷士の森
	下 予備
12	上 3号母線GPT
	下 所内高圧盤(2)
13	上 公園プール
	中 第2陸上競技場
	下 予備
14	上 大型映像
	中 第2電気室
	下 予備
15	上 3号母線遮断器
	中 第3電気室
	下 バック・ナイター照明
16	母線遮断器
	上 1号母線遮断器
	下 電灯表示
17	上 第4電気室
	中 第1電気室
	下 メイン・ナイター照明
18	上 予備
	中 競技場
	下 テニスコート
19	上 予備
	中 1号母線GPT
	下 所内高圧盤(1)
20	1号母線GPT
21	引込遮断器
22	所内変圧器
23	1号コンデンサ
24	2号コンデンサ
25	3号コンデンサ
26	
27	
28	直流電源装置
29	リモートステーション
30	電力会社取引用計器盤
31	接地端子箱
32	4-1M-1 (電力)
33	4-1L-1 (電灯)

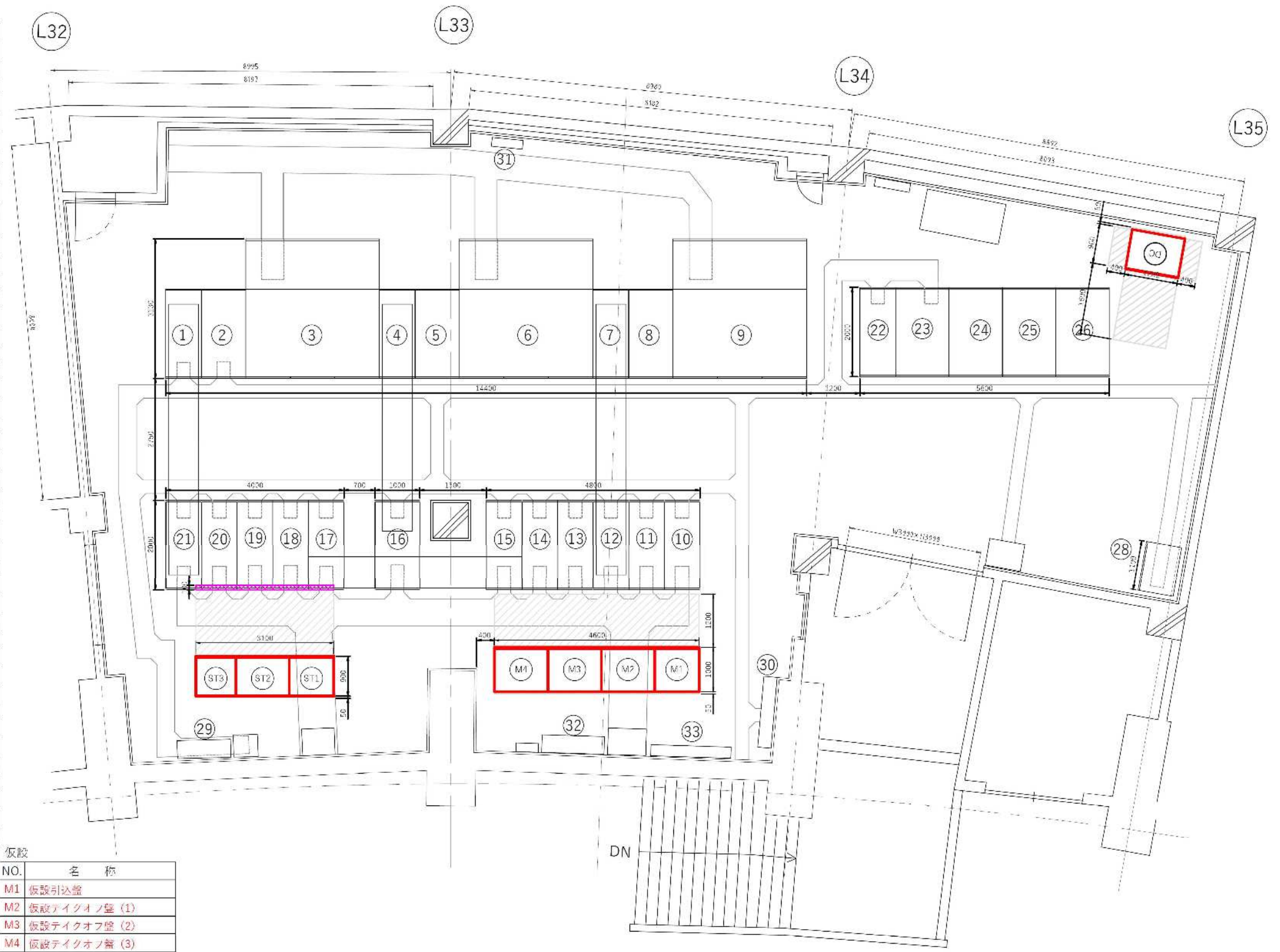


電気設備-参考資料

i.受変電設備  
1.特高受電設備  
STEP1

STEP1	凡例
	■ : 新設
	■ : 撤去

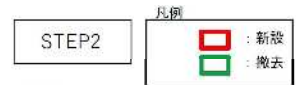
既設		新設	
NO.	名称	NO.	名称
1	1号プロテクタ遮断器		
2	1号MOF		
3	1号変圧器		
4	2号プロテクタ遮断器		
5	2号MOF		
6	2号変圧器		
7	3号プロテクタ遮断器		
8	3号MOF		
9	3号変圧器		
10	3号母線接地変圧器		
11	上 記念公園		
	中 郷土の森		
	下 予備		
12	上 3号母線GPT		
	下 所内高圧盤(2)		
13	上 公園プール		
	中 第2陸上競技場		
	下 予備		
14	上 大型映像		
	中 第2電気室		
	下 予備		
15	上 3号母線遮断器		
	中 第3電気室		
	下 バック・ナイター照明		
16	母線新路器		
17	上 1号母線遮断器		
	下 電灯表示		
18	上 第4電気室		
	中 第1電気室		
	下 メイン・ナイター照明		
	下 予備		
19	上 競技場		
	中 テニス場		
	下 予備		
20	上 1号線母線GPT		
	下 所内高圧盤(1)		
21	1号母線GPT		
22	引込新路器		
23	所内変圧器		
24	1号コンデンサ	ST1	VCB盤
25	2号コンデンサ	ST2	所内変圧器盤
26	3号コンデンサ	ST3	MCCB盤
27			
28	直流電源装置		
29	リモートステーション		
30	電力会社取引用計器盤		
31	接地端子箱		
32	4-1M-1 (電力)		
33	4-1L-1 (電灯)		



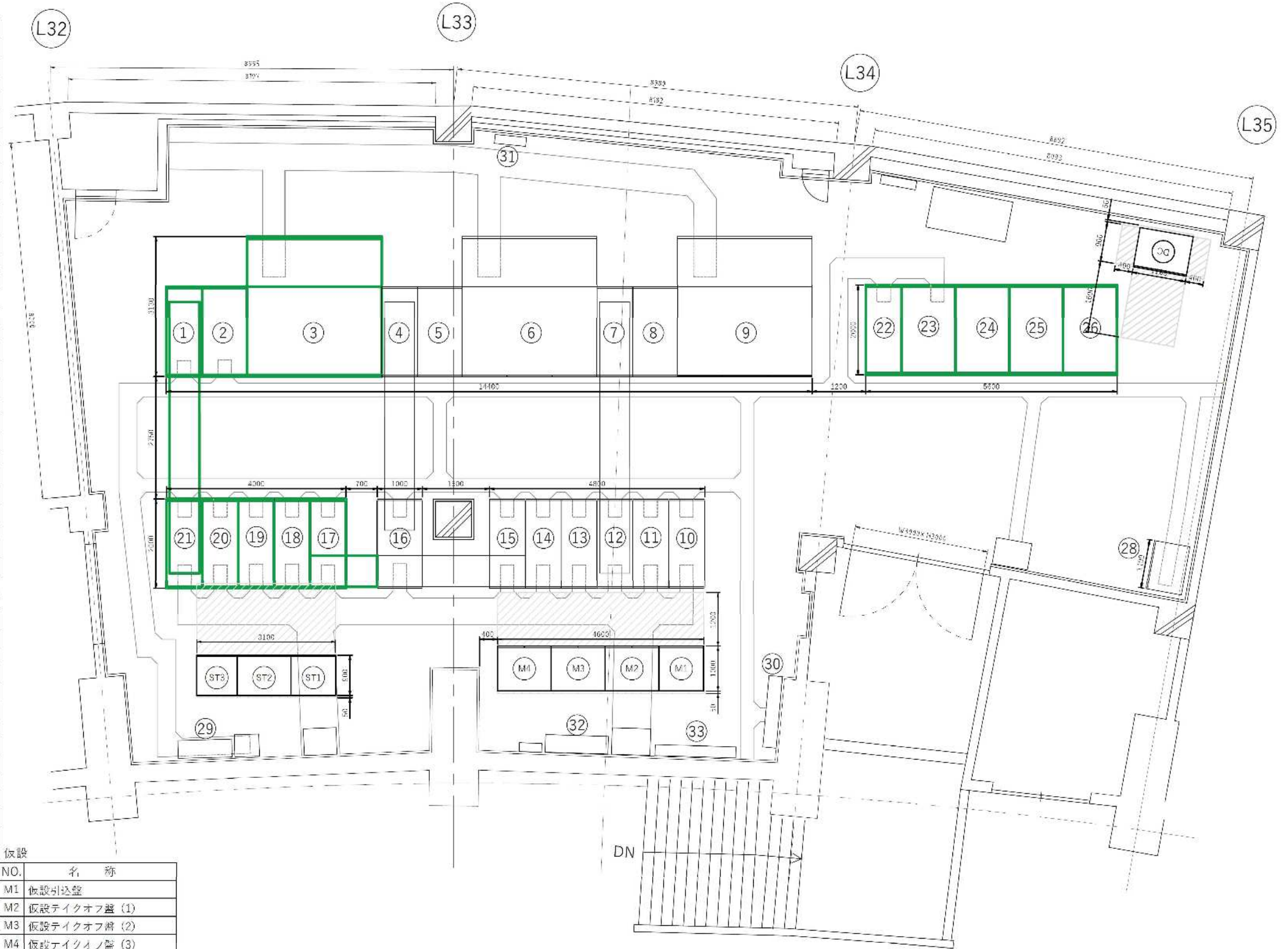
仮設	
NO.	名称
M1	仮設引込盤
M2	仮設デイクイオン盤 (1)
M3	仮設デイクイオン盤 (2)
M4	仮設デイクイオン盤 (3)
DC	直流電源盤

電気設備-参考資料

i. 受変電設備  
1. 特高受電設備  
STEP2



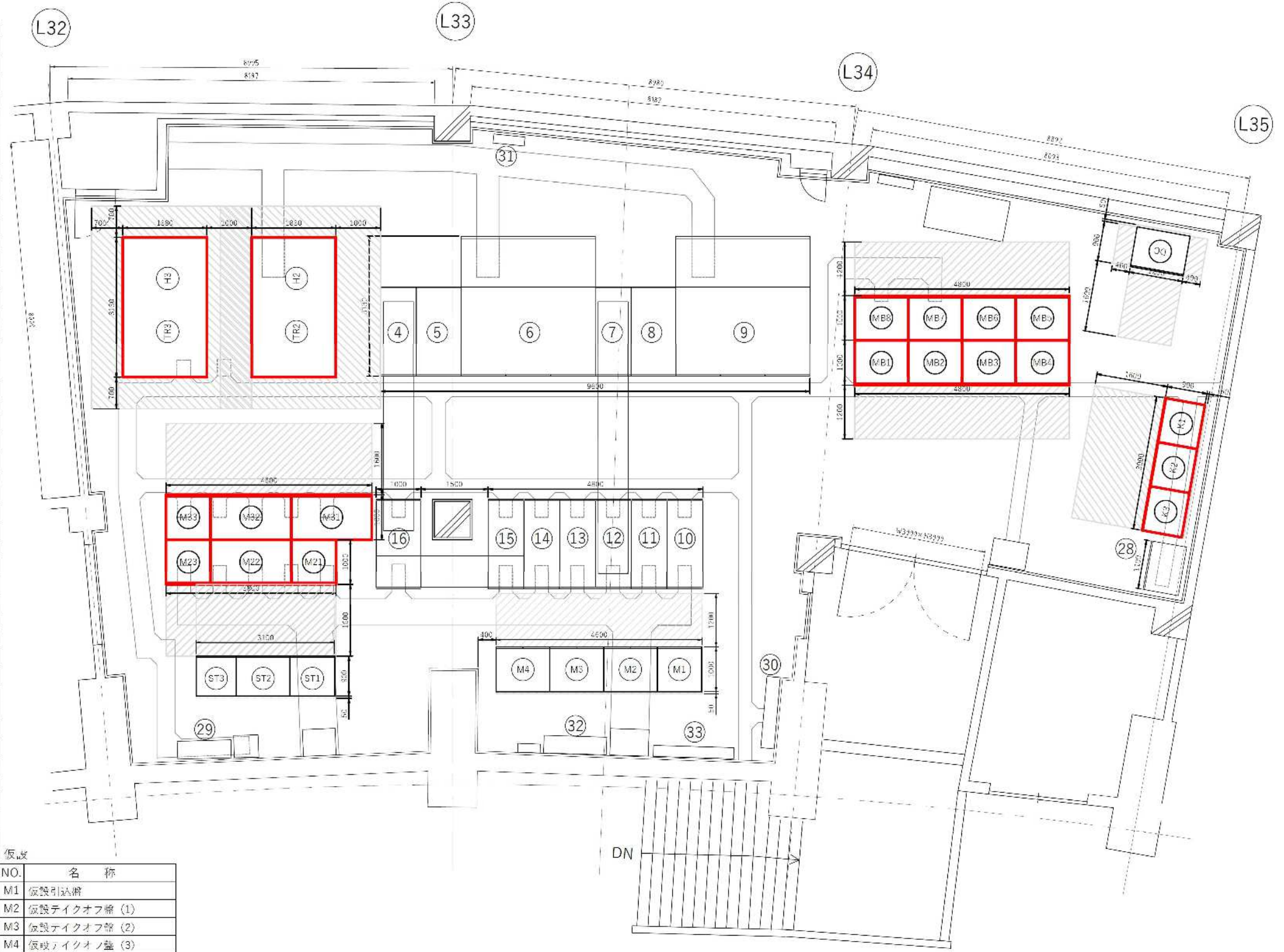
既設		新設		
NO.	名称	NO.	名称	
1	1号プロテクタ遮断器			
2	1号MOF			
3	1号変圧器			
4	2号プロテクタ遮断器			
5	2号MOF			
6	2号変圧器			
7	3号プロテクタ遮断器			
8	3号MOF			
9	3号変圧器			
10	3号母線接地変圧器			
11	上 記念公園			
	中 郷土の森			
	下 予備			
12	上 3号母線GPT			
	下 所内高圧盤(2)			
13	上 公園プール			
	中 第2陸上競技場			
	下 予備			
14	上 大型映像			
	中 第2電気室			
	下 予備			
15	上 3号母線遮断器			
	中 第3電気室			
	下 バック・ナイター照明			
16	母線断接器			
17	上 1号母線遮断器			
	下 電灯表示			
18	上 第4電気室			
	中 第1電気室			
	下 メイン・ナイター照明			
	下 予備			
19	上 競技場			
	中 テニス場			
	下 予備			
20	上 1号線母線GPT			
	下 所内高圧盤(1)			
21	1号母線GPT			
22	引込断接器			
23	所内変圧器			
24	1号コンデンサ	ST1	VCB盤	
25	2号コンデンサ	ST2	所内変圧器盤	
26	3号コンデンサ	ST3	MCCB盤	
27				
28	直流電源装置		仮設	
29	リレーステーション		NO.	名称
30	電力会社取引用計器盤		M1	仮設引込盤
31	接地端子箱		M2	仮設テイクオフ盤 (1)
32	4-1M-1 (電力)		M3	仮設テイクオフ盤 (2)
33	4-1L-1 (電灯)		M4	仮設テイクオフ盤 (3)
		DC		直流電源盤



電気設備-参考資料

i.受変電設備  
1.特高受電設備  
STEP3

STEP3		凡例		新設	
		<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span> 新設	<span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span> 撤去	NO.	名称
既設					
NO.	名称				
1				H2	2L受電盤
2				H3	3L受電盤
3					
4	2号プロテクタ遮断器	TR2	NO.2 NWTR		
5	2号MOF	TR3	NO.3 NWTR		
6	2号変圧器				
7	3号プロテクタ遮断器	K1	NW監視盤		
8	3号MOF	K2	中継端子盤 (1)		
9	3号変圧器	K3	中継端子盤 (2)		
10	3号母線接地変圧器				
11	上 記念公園				
	中 郷土の森				
	下 予備				
12	上 3号母線GPT	M21	NW母線連絡盤 (B21)		
	下 所内高圧盤(2)	M22	NO.2 プロテクタ盤		
13	上 公園プール	M23	NW母線連絡盤 (B23)		
	中 第2陸上競技場				
	下 予備				
14	上 大型映像	M31	GTR盤		
	中 第2電気室	M32	NO.3 プロテクタ盤		
	下 予備	M33	NW母線連絡盤 (B32)		
15	上 3号母線遮断器				
	中 第3電気室				
	下 バック・ナイター照明				
16	母線断路器				
17					
18					
19		MB1	B系テイクオフ盤 (1)		
		MB2	B系テイクオフ盤 (2)		
		MB3	B系テイクオフ盤 (3)		
		MB4	B系テイクオフ盤 (4)		
20		MB5	B系EVT盤		
		MB6	B系テイクオフ盤 (5)		
21		MB7	B系テイクオフ盤 (6)		
22		MB8	B系テイクオフ盤 (7)		
23					
24		ST1	VCB盤		
25		ST2	所内変圧器盤		
26		ST3	MCCB盤		
27					
28	直流電源装置				
29	リモートステーション				
30	電力会社取引用計器盤				
31	接地端子箱				
32	4-1M-1 (電力)				
33	4-1L-1 (電灯)				



仮設	
NO.	名称
M1	仮設引込盤
M2	仮設テイクオフ盤 (1)
M3	仮設テイクオフ盤 (2)
M4	仮設テイクオフ盤 (3)

電気設備-参考資料

i.受変電設備  
1.特高受電設備  
STEP4

STEP4		凡例	
		<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> </span> : 新設	<span style="border: 1px solid green; padding: 2px;"> </span> : 撤去
表設			
NO.	名称	NO.	名称
1		H2	2L巻電盤
2		H3	3L巻電盤
3			
4	2号プロテクタ遮断器	TR2	NO.2 NWTR
5	2号MOF	TR3	NO.3 NWTR
6	2号変圧器		
7	3号プロテクタ遮断器	K1	NW監視盤
8	3号MOF	K2	中継端子盤 (1)
9	3号変圧器	K3	中継端子盤 (2)
10	3号母線接地変圧器		
11	上 記念公園		
	中 郷土の森		
	下 予備		
12	上 3号母線GPT		
	下 所内高圧盤(2)	M21	NW母線連絡盤 (B21)
13	上 公園プール	M22	NO.2プロテクタ盤
	中 第2陸上競技場	M23	NW母線連絡盤 (B23)
	下 予備		
14	上 大型映像	M31	GTR盤
	中 第2電気室	M32	NO.3プロテクタ盤
	下 予備	M33	NW母線連絡盤 (B32)
15	上 3号母線遮断器		
	中 第3電気室		
	下 バック・ナイター照明		
16	母線新設器		
17			
18		MB1	B系テイクオフ盤 (1)
		MB2	B系テイクオフ盤 (2)
19		MB3	B系テイクオフ盤 (3)
		MB4	B系テイクオフ盤 (4)
20		MB5	B系EVT盤
		MB6	B系テイクオフ盤 (5)
21		MB7	B系テイクオフ盤 (6)
22		MB8	B系テイクオフ盤 (7)
23			
24		ST1	VCB盤
25		ST2	所内変圧器盤
26		ST3	MCCB盤
27			
仮設			
28	直流電源装置		
29	リモートステーション	NO.	名称
30	電力会社取引用計器盤	M1	仮設引込盤
31	接地端子箱	M2	仮設ライクオン盤 (1)
32	4-1M-1 (電力)	M3	仮設テイクオフ盤 (2)
33	4-1L-1 (電灯)	M4	仮設テイクオフ盤 (3)
		DC	直流電源盤

